

shizen-kansatsu-guide



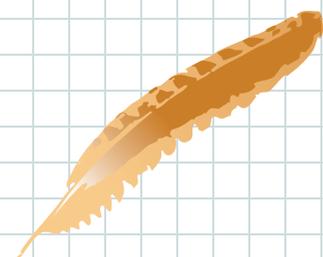
shizen-kansatsu-guide

さあこれをもっててかけよう！

みじかな しぜんかんさつ

50周年記念

日本自然保護協会



name

この本(パンフレット)は「平成13年度用寄付金付お年玉郵便葉書等寄付金」で作成しました

気づいていますか？身近な自然

？ 身近な自然はどんなところ？

自然というところを思い浮かべますか？山奥の原生林ですか？高山に囲まれた湿原ですか？それとも色とりどりの魚が住むサンゴ礁でしょうか？

どれもすばらしい自然です。でも、そんな自然にあなたはいつもふれあうことができますか？ほとんどの人にとって、それは遠くの自然で、出かけることがあってもそれは特別な時ですね。では、あなたが毎日を暮らしているところには自然はないのでしょうか？

あなたの住んでいる家のまわりを見渡してみましょ。どんな自然があるでしょう。川はありませんか。海や池、沼などが近くにある人もいますでしょう。畑や田んぼが近くにあったり、雑木林があったりしませんか？

「いいえ、私が住んでいるのはもっとまちの中です。」という人のまわりにも、公園の木々や街路樹、家の庭、学校の校庭の草花などにたくさんの自然がないでしょうか？

こんな日常の暮らしの中やその近くにある自然が「身近な自然」です。

身近な自然に出かけてみよう

「身近な自然」は山奥の大自然などに比べると、あまり豊かではないように思われるかもしれませんが。しかし、昔から人間が自然とうまくつきあってきたことも手伝って、たくさんの生き物の住みかでもある豊かな自然があります。

家のまわりの自然を見に出かけてみませんか？見慣れた景色が違って見えてくると思います。こんな近所に、こんな自然があったのか、こんな生き物がいたのか、こんなに気持ちいいのか、というように。あなたの宝物が見つかるかもしれません。そして、私たち人間も、自然の中で生きている、暮らしているということが実感されるのではないのでしょうか。

2001年自然しらべから

みじかな一句

ズリ山に 楓や蘆の 幾春別

北海道 / 森康伸さん

もくじ 身近な自然観察ガイド

01
気づいていますか？
身近な自然

身近な自然はどんなところ？
身近な自然に出かけてみよう

「メダカが絶滅してしまおうぞ」

03
なぜ今、身近な自然が
大切なの？

「みんなで、みれば、みえてくる」

自然しらべのすすめかた

05
この冊子の
つかいかた

07
自然しらべ
「里やま」

自然しらべ1~6
まとめ方について
記入シート
1999年まとめ

17
自然しらべ
「川」

自然しらべ1~6
まとめ方について
記入シート
2000年まとめ

27
自然しらべ
「海・湖・沼」

自然しらべ1~6
まとめ方について
記入シート
1996年まとめ

応募者一覧
応募作品とまとめ
シゼンホゴフェス

37
2001年
自然しらべ

43
自然しらべの
創意工夫

もっと自然観察
もっと自然しらべ
自然観察のポイント

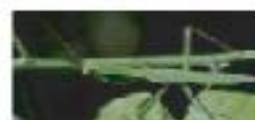
46
NACS-J
自然観察指導員

45
フィールドマナー
安全対策

自然観察指導員とは？
講習会へ参加しませんか？

自然かんさつから
はじまる自然保護

47
観察から
保護へ



みじかな一句

農協へ 道々熟栗 路肩まで

茨城県 / 青木タケノさん

なぜ今、身近な自然が大切なの？

「メダカが絶滅してしまいそうだ」

ということを聞いたことはありませんか。

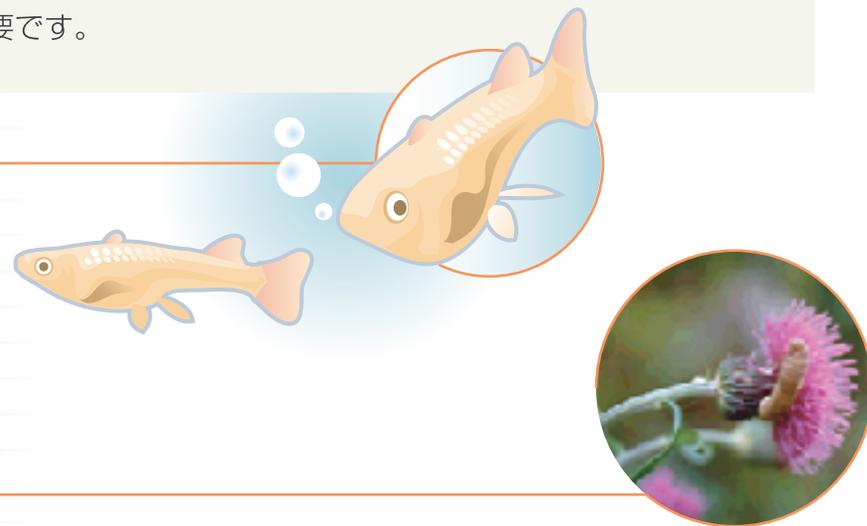
少し前まで、メダカは決して珍しい生き物ではありませんでした。山奥の清流で生きているような生き物でもありません。むしろ私たちが暮らすまわりの小川にたくさんすむ生き物でした。

実は、メダカのように自然にすんでいた生き物で、絶滅が心配されるものが増えています。秋の七草のひとつとして親しまれてきたフジバカマもそうです。チョウやカエルの仲間も日本各地ですいぶんと減っているようです。

それは、身近な自然自体が失われたり、自然の質が悪くなったり、あるいは外国などから持ってこられた生き物の影響を受けたり、最近数十年の間に急激に変わった人間の活動が原因なのです。

では、身近な自然は、こんな生き物たちにとってだけ大切なのでしょうか。

いいえ、そこで暮らしている人間にとっても、大切な自然なのではないでしょうか。遠くの自然ではなく、家のまわりに豊かな自然があることは、日常的に自然とふれあい、自然の恵みを受けられることにつながります。そのすばらしさは、お金や物ではかかれるものではないかもしれませんが、今のような世の中だからこそ求められる、その土地の財産なのではないでしょうか。このように、たくさんの生き物たちにとっても、私たち人間にとっても、とても重要な自然にもっと注目し、大切にしていける必要があります。



みじかな一句

町中に 何故か淋しい 栗林

群馬県 / 今泉紀寿さん

自然しらべって何？

「自然しらべ」は、日本全国の方々に参加していただいて、身近な自然を調べる調査です。

「みんなで、みれば、みえてくる」

を合い言葉に、日本自然保護協会が1995年から行っています。調べるといっても、難しいものではなく、小学校中学年以上の方が参加できるものです。生き物を調べるというより、その場所の様子から生き物とその場所とのかかわりや、人と自然とのかかわりを調べるのが、この調査の特徴です。

できるだけ多くの人に実際に出かけてもらい、身近な自然を観察してもらいたい。それを続けてゆくことで、その土地の自然への親しみや愛着が増し、関心が高まることでしょう。自然の変化にも敏感になるでしょう。それが自然を守ることにつながると私たちは考えています。

これまでに「川」、「海・湖沼」、「里やま」そして身近なところで「気になる自然」を対象にして行ってきました。これまでに全国の3万人近い方々が、個人だけでなく、家族、グループ、学校ごとに参加をしています。身近な自然が健康な状態であり続けるために、できるだけ多くの人に地域の自然の主治医になってほしいと願っています。



みじかな一句

新緑や 塗り替えられし 朱の鳥居

千葉県 / 田端義さん

この冊子のつかいかた

身近な自然、地域の自然を再発見しよう!

この冊子は、これまで日本自然保護協会が行ってきた「自然しらべ」をもとにして、もっとたくさんの方に、身近な自然、地域の自然に触れて、関心を持っていただくことをめざして作りました。実際に、身近な自然に出て、見続けていくことが大切です。そうすることによって新しい発見や感動に出会えることと思います。その手助けとしてこの冊子を活用していただければと考えています。

これまでに
実施した

里やま

川

海・
湖沼

を対象とした
「自然しらべ」

それぞれのやり方とやってみた結果が、次のページから順番に紹介してあります。

まだ、やったことのない方。是非一度やってみてください。そして、やったことがある方もくり返しやってみて下さい。

学校単位や、クラス単位、グループごとでお使いになる場合は、日本自然保護協会が元を作ったことをどこかに入れておいていただければ、コピーをしてお使いいただくことも、自由です。

日本自然保護協会では、これからホームページを使って、皆さんの「自然しらべ」の結果をまとめ、全国のようすをお知らせすることを進めていきます。是非ホームページもご覧ください。

<http://www.nacsj.or.jp>



みじかな一句

道ばたに 咲きしひまわり下を向く 遊ぶ子供ら 見守るように

千葉県 / 武市真衣さん

しぜんしらべ

自然しらべの おすすめ方



みんなの家のまわりには何があるかな



里やま
P7~16



川
P17~26



海・湖沼
P27~36

行く場所を決めたら、
持ち物や服装を確認して出かけよう。
— それぞれの場所での注意点は下のページをよく見てください —

里やま P8

川 P18

海・湖沼 P28

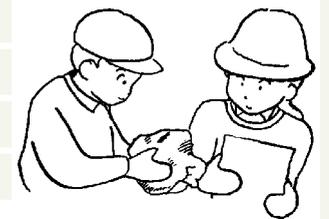
安全対策 P45

まずはマニュアルにそってしらべてみよう。

マニュアルの項目

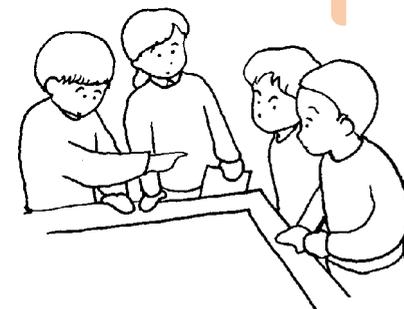
- 遠くからながめてみよう
- ちょっと近づいてみよう
- 実際に中に入ってみよう
- 生き物はどうかかな?
- よごれはどうかかな?
- しずのかかわりはどうかかな?

さあ、
自然しらべの
はじまりだ!



記入シートにまとめてみる

友達と話しあってみたり、まとめてみたりしながら、
これからも身近な自然を見つけていってね。



みじかな一句

散歩道 虫の声すら 今はない

千葉県 / 大井文仁さん

「里やま」って どんなところ？

とくちょう
特徴

日本を代表する自然のひとつ

田んぼや畑がひろがり、林がある。家や神社やお寺もある。そんな農村のような風景を「里やま」と呼びます。

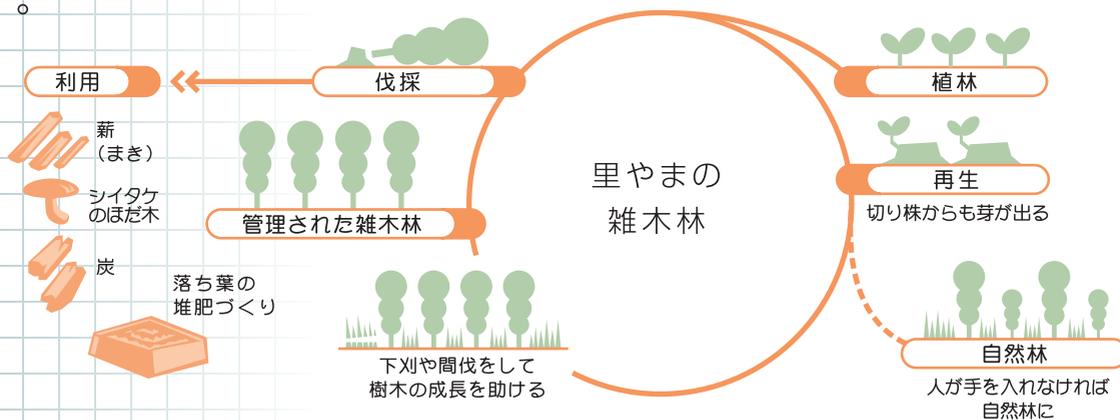
里やまの自然はどんな自然でしょうか。

里やまでは昔から、田畑を耕したり、田んぼに水を引くためのため池や水路を作り、それを手入れしたり、林では、燃料のまきや炭、あるいは材木として利用したりしてきました。人の手がずいぶん入っているのです。しかし、そこにはたくさんの種類の生き物が数多く暮らしています。それは生き物にとっても、やさしい自然の使い方だったからです。たとえば、木を切るのも、一度に全部を切ってしまうわけではありません。少しずつ、場所を変えて使っていくのです。そうすると、生き物にとって住みやすい場所がずっと残されていくのです。

田や畑、小川やため池、草はら、雑木林や鎮守の森、お屋敷の森などが、モザイクのようにつくる「里やま」は、古くから人の利用と自然の豊かさが調和し保たれてきた、日本を代表する自然のひとつなのです。農村地帯だけでなく、大きな都市のまわりにも残っています。

あなたのまわりにそんな場所がないか探してみませんか。

「里山」と漢字で書く場合は、雑木林のような林だけをいう場合が多いようです。ここでは、林だけでなく田畑や川、神社なども含めて、農村的な風景全体を「里やま」としました。



観察のマナー

里やまはほとんどの場合、個人の持ち物です。できれば、前もってその土地を持っている人にあいさつしておきましょう。ただし、どこの人がどの土地を持っているかを知ることはなかなかむずかしいことがあります。少なくともこの「自然しらべ」をやっている最中に会った土地の人には、こちらからあいさつをしましょう。

なお、人里の自然にも、スズメバチやマムシなど、つきあい方を間違えると、人が大変な目にあう生き物がいることがあります。まず、そんな生き物がいたらむやみに近づかないことですが、どんな性質の生き物なのか、おそれたらどうすればいいのかを事前に知っておくことが大切です。「危険な生物」(平凡社)などを参考にしてください。

注意点

気をつけよう
危険な生き物
ハチ・マムシ・トゲのある植物など

気をつけよう
夜おそくの外出はやめよう!

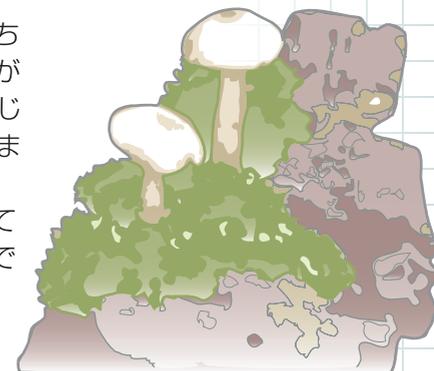
気をつけよう
くずれやすいガケや落石

●安全のためには、夏でも長そで、長ズボンという服装が良いでしょう。帽子も忘れずに。

観察のポイント

里やまは、人と自然が織りなす豊かな自然です。自然の豊かさを、生き物などの観察で、確かめ、実感することに加えて、是非昔から行われてきたその土地での人と自然のつきあい方といった知恵にも目をむけてください。家族のお年寄りに話を聞いたり、出かけていった里やまで会った人に話を聞いたりすると、昔のようすもわかったり、新たな発見があるはずですよ。

また、このような「里やま」では、昔から子供たちが草などをとって草花遊びをしてきた場所がたくさんあります。是非そのような遊びもつうじて、自然にふれあってください。ただし、里やまでも今や絶滅しそうな生き物がいます。採る量や生き物の種類、場所をわきまえ、そして生き物に対する感謝の気持ちを持って遊んでください。



みじかな一句

どる池に 今朝もまた おはよう

東京都 / 野々山陽子さん

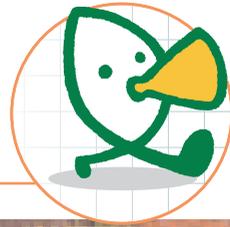
みじかな一句

小 綏 鷄 の 鳴 く 公 園 や 朝 の 霧

神奈川県 / 井上実さん

行ってみよう	参考図書
1	しらべること
2	しらべること
3	しらべること
4	しらべること
5	しらべること
6	しらべること
まとめ	かた
記入シート	
1999年	まとめ

さあ、「里やま」に行ってみよう



里やまの風景の写真を撮ったり、スケッチしたりしてみませんか？
こんど同じところに来たときにどんな変化があるでしょう。
また、スケッチしておくで、それまで気づかなかったことに
気づくかもしれません。



読んでから行ったり、行ってから読んだり。

参考図書

TITLE	著者	出版社	価格
■再生の雑木林から	中川重年 著	創森社	1553円
■雑木林をつくる	倉本宣・内城道興 編著	百水社	1400円
■里山の自然をまもる	石井実・植田邦彦・重松敏則 著	築地書館	1800円
■小さな雑木林の探検	柴田敏隆 著	童心社	2000円
■ケビンの里山観察	ケビン ショート 著	講談社	1650円
■雑木林ウォッチング	中山周年 著	小学館	980円
■雑木林の自然かんさつ	NACS-J	NACS-J	380円
■たのしい草花あそび	佐伯剛正 文・川添ゆみ 絵	岩崎書店	1500円

みじかな一句

川遊び 氾濫防止に 影もなし

神奈川県 / 江波戸美紀さん

1 里やまのなりたち

まず、全体が見える場所に立って眺めてみましょう。



3点

里やまは、林や水田・畑や草原をはじめ屋敷林・社寺林など多様な環境を含んでいる。

2点

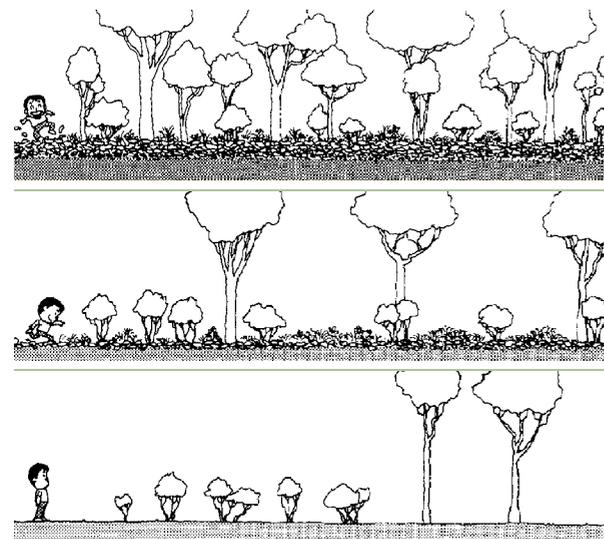
里やまは、おもに林と水田・畑からなっているが、新しい住宅地や工場なども目立つ。

1点

里やまは、新しい住宅地・工場・倉庫に囲まれて孤立している。

2 林のようす

林に近づいてみましょう。



3点

林は、4階建て、あるいは3階建て（高木、(亜高木)、低木、草本）。地面は、落ち葉で覆われている。また、歩くとふかふかしている。

2点

林は、2階建て（高木あるいは低木と草本）。地面は、落ち葉で覆われているが、ふかふかしていない。

1点

林は、1階建て（高木のみ、低木のみ）。地面に、落ち葉はなく、土はカチカチ。

行って
みよう
参考図書

しらべ
ること

しらべ
ること

しらべ
ること

しらべ
ること

しらべ
ること

しらべ
ること

まとめ
かた

記入
シート

1999年
まとめ

行って
みよう
参考図書

しらべ
ること

しらべ
ること

しらべ
ること

しらべ
ること

しらべ
ること

しらべ
ること

まとめ
かた

記入
シート

1999年
まとめ

里やまの
水辺のようす

林の
ようす

水辺の
ようす

里やまの
動物

ゴミの
ようす

里やまと
人のかかわり

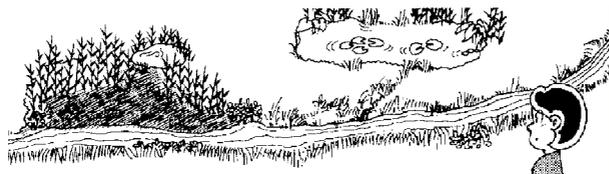
結果の
みかた

記入して
みよう

過去の
記録

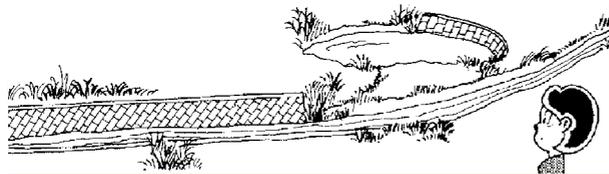
3 水辺のようす

林や水田・畑にある川や池の水辺をのぞいてみましょう。



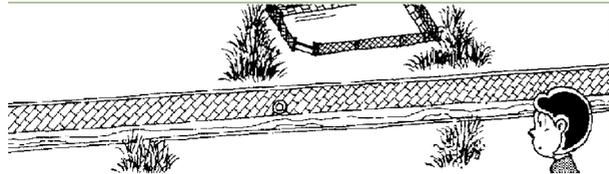
3 点

小川・水路や湿地・ため池などの水辺には植物がみられる。またわき水もあり、小川や水路には豊富な水が流れている。



2 点

小川・水路やため池などの水辺は一部がコンクリートでかためられている。目立ったわき水はないが、小川や水路には常に水が流れている。



1 点

小川・水路やため池などの水辺はコンクリートでかためられている。小川や水路にはほとんど水は流れていない。

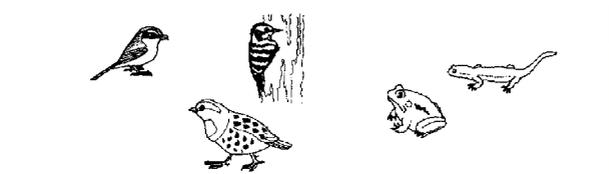
4 里やまの動物

どんな動物がみられましたか？



3 点

ほ乳類:キツネ・タヌキ・テン・イノシシ・リス・ムササビなど/猛きん類:オオタカ・フクロウなど/へび類:マムシ・ヤマカガシ・シマヘビなど/カエルやサンショウウオがいる。



2 点

モズ・コジュケイ・コゲラなどの野鳥、へびやカエルの姿が見られる。



1 点

カラス・ドバト・スズメなどの鳥しか見られない。

5 ゴミのようす

ゴミが捨てられていましたか？



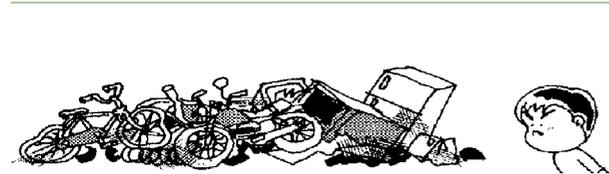
3 点

ゴミはほとんど見られない。



2 点

空きカンや雑誌、生ゴミなど家庭のゴミが捨てられている。

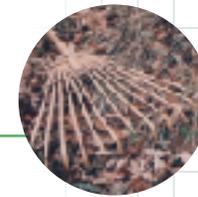


1 点

自転車・バイク・電化製品などの粗大ゴミや産業廃棄物が捨てられている。

6 里山と人のかかわり

どのようにかかわっていましたか？



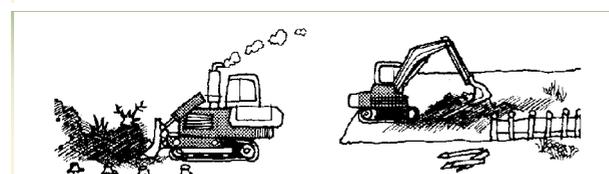
3 点

農家や市民によって、落ち葉かき・下草刈り・炭焼きなどの林の管理や水田・畑の耕作が行われている。



2 点

林の管理は行われておらず、水田・畑は耕作放棄が目立つ。



1 点

林の伐採と整地や、水田・畑の埋め立てと整地が行われ、住宅や工場、駐車場、ゴルフ場などにかわりつつある。

まとめ方について

記入シート



行って
みよう

参考図書

しらべ
こと

しらべ
こと

しらべ
こと

しらべ
こと

しらべ
こと

しらべ
こと

まとめ
かた

記入
シート

1999年
まとめ

1999年
まとめ

行って
みよう

参考図書

しらべ
こと

しらべ
こと

しらべ
こと

しらべ
こと

しらべ
こと

しらべ
こと

まとめ
かた

記入
シート

1999年
まとめ

1999年
まとめ

自然しらべ 結果のみかた

あなたのしらべた里やまの特徴をグラフから読みとろう

里やまは人と自然との関係によって成り立っている自然です。しらべた結果を、「自然の豊かさ」と「適切な人のかかわり」のふたつの見方で、グラフにしてみましょう。

主に「自然の豊かさ」を表す項目の合計点数を、グラフのたての軸に。

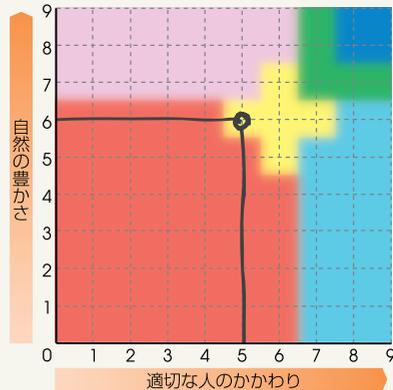
項目 2 + 項目 3 + 項目 4 = 点 :例

主に「適切な人のかかわり」を表す項目の合計点数を、グラフの横の軸に。

項目 1 + 項目 5 + 項目 6 = 点 :例

図のように、6点と5点の場合、ふたつの点数が交わる場所に、黒丸をかいてみましょう。

あなたがしらべた里やまはどこに黒丸が付いたでしょう？
豊かな自然が保たれていますか？
人とかかわり方は良い関係でしょうか？



- 非常に豊かな里やま
- 豊かな里やま
- 豊かにしたい里やま
- もっと豊かにしたい里やま
- 自然の豊かさが目立つ里やま
- 人のかかわりが目立つ里やま

自然しらべ 「里やま」を終えて

里やまでは、近年、こまめな利用と管理が行われなくなり、それに代わって住宅地などの開発が進んできました。その結果、各地で里やまは急速に失われてきています。

自然しらべでは、残念ながら今もそのような状況が日本各地で続いていることがわかりました。しかし、1999年に行ったアンケートでは、多くの市民や行政で里やまを守るためのさまざまな努力がされていることわかりました。地域の自然を守っていくには、地元の方々の力がどうしても必要です。市民の関心や愛着が、社会のしくみやルールづくりにつながっていくことが大切です。

そして、この「自然しらべ」などによって、身近な里やまに出かけ、そのようすを見続けることは、その基本となる大切なことです。

みじかな一句

団栗や ふたつに割れて 新芽出づ

愛知県 / 林 進さん

みじかな一句

夏アカネ 荒地棚田が くもりけり

三重県 / 伊藤多紀子さん

(1) 自然しらべを行った日と行った人を書いてください。

行った日: ___年 ___月 ___日 (午前・午後) 天気: _____

行った人: _____

(2) あなたのえらんだ場所は？

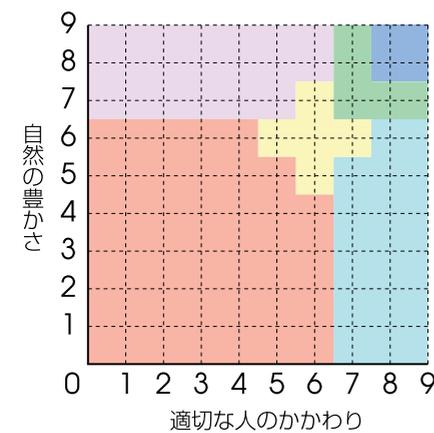
しらべた里やまの住所:

家から: _____ (徒歩・自転車・車・電車)で _____ 分くらいのところ

(3) 自然しらべの結果を表にしてください。

1. 里やまのなりたち	点— <input type="text" value="1"/>	気づいたこと
2. 林のようす	点— <input type="text" value="2"/>	_____
3. 水辺のようす	点— <input type="text" value="3"/>	_____
4. 里やまの動物	点— <input type="text" value="4"/>	_____
5. ゴミのようす	点— <input type="text" value="5"/>	_____
6. 里やまと人のかかわり	点— <input type="text" value="6"/>	_____

(4) 自然しらべの結果をグラフで見てください。



(3) の点数から次のように計算してグラフに記入してください。

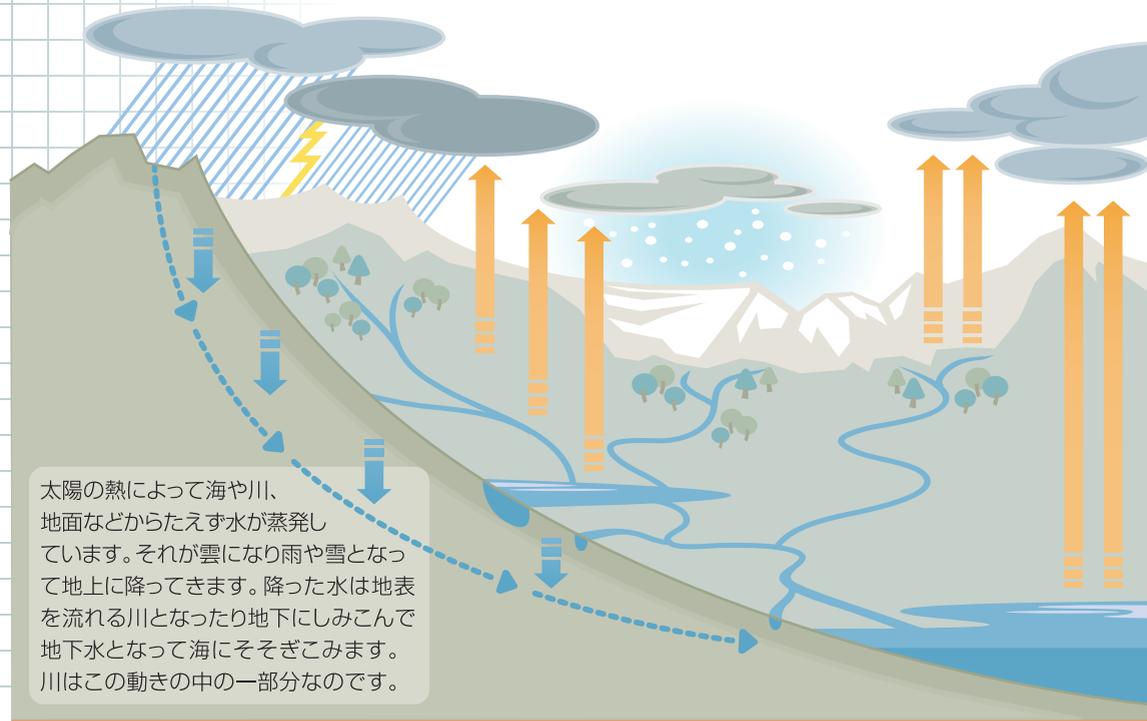
縦軸：自然の豊かさ
②+③+④ = 点
横軸：適切な人のかかわり
①+⑤+⑥ = 点

「川」って どんなところ？

「日本には三万本の川がある」

とくちょう
特徴

「川」は私たちがくらす村や町にもある身近な自然です。川の自然の特徴は、いくつかあります。ひとつは、山と海をつないでいるということです。流れは、水はもちろん、砂や土、水の中に溶けるものを運びます。それは、生き物にとっても大切な通り道であり、すみかです。木の葉や種・実が運ばれます。動物の中には、川と海との間を行ったり来たりするものがたくさんいます。もう一つは、自然の変化が激しいということです。大きな洪水が川らしい自然を保っているとも言えます。上流と中流、下流とでは、川の流れ方や自然のようすもずいぶん違います。そんな川と人間は昔からさまざまなつきあいをしてきました。生きていくのに必要な水や食べ物を得たり、川を使って人やものを運ぶという恩恵もあり、また洪水との戦いというつきあいもありました。あなたは最近、近くの川とつきあってますか？身近な川には今どんな自然があるのだろう。むかし遊んだあのふるさとの川はどんなふうになっているのだろう。川に行ってみましょう。きっといろいろな発見があるはずですよ。



太陽の熱によって海や川、地面などからたえず水が蒸発しています。それが雲になり雨や雪となって地上に降ってきます。降った水は地表を流れる川となったり地下にしみこんで地下水となって海にそそぎこみます。川はこの動きの中の一部なのです。

観察の注意点

川に行く日や前の日の天気はどうでしょう。その日が晴れていても、前の日まで大雨が降っていると、川が増水して危険なことがあります。また、川の上流で大雨が降っていると、下流で洪水になることもあります。ふだんはやさしい流れだったり、場所によってはほとんど水が流れない川も、一変してしまいます。天気予報やその川に詳しい地元の人のお話を聞きましょう。川はそれぞれに個性があります。長年その川の近くに住んでいる人は、その川の性格をよく知っています。注意をされたら従うのが一番です。また、植物が生えていない川原などは、増水したら、必ず川の流れになるところです。植物が生えていても、大水の場合にはそこも流れになります。そういうところでも生きられる植物なのです。自然を観察することは、安全にもつながります。

気をつけよう

ひとりだけでかけるのはやめよう。特に夜はだれかといっしょにかけよう。



気をつけよう

てっぽう水やダム放流で水かさが増えることがあるので、特に中州に入るときは逃げ道を考えておこう。

気をつけよう

夏の川原は日よげがない。日しゃ病に気をつけよう。



気をつけよう

川原でピンを割ったり、なるべくはだしで歩かないようにしよう。



気をつけよう

水の流れの力は驚くほど強い。流れの早いところではすべらないよう注意しよう。



観察のポイント

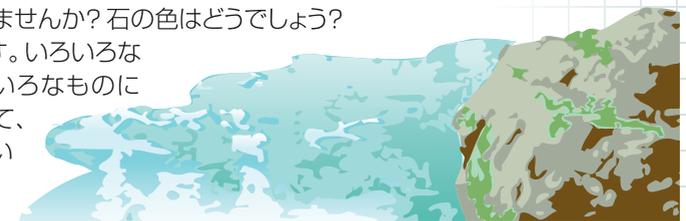
川の中にはどんな魚がいるのでしょうか。

川の中をのぞいたり、釣りをしている人のバケツの中を見せてもらったりしてみましょう。夏であれば、水中メガネで水の中をのぞいてみるのもいいかもしれません。深いところに行かないでも、くるぶしくらいの深さでも、いろいろな生き物の生活しているようすがみられます。でも流されないように気をつけましょう。

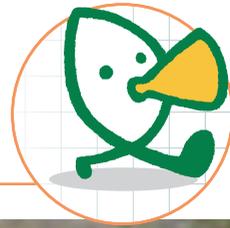
川の流れも見てみましょう。流れの早いところと、おそいところがありませんか？この両方の場所がないと、困ってしまう生き物がいます。早いところとおそいところを見比べてみましょう。

石や砂もみてみましょう。川原の石はどんな石でしょう？大きな石もありますか。それは、最初からここにあったのだろうか？それともどこからやってきたのかな？川底の砂が流れて動いていませんか？石の色はどうでしょう？

川の流れの働きがわかります。いろいろな形の石を探してきて、いろいろなものに見立てたり、色をつけたりして、展示会をするのもおもしろいですね。



さあ、「川」に行ってみよう



これからみなさんが「自然しらべ」を行う場所は、川の上流だろうか？
下流だろうか？運ばれたものは、どうなるのだろうか？
人間が出すゴミや汚れた水はどうになってしまうのだろうか？
この川は、いろいろな生物が豊かにくらしているのだろうか？
いろんなことを考えながら、「自然しらべ」をやってみてください。

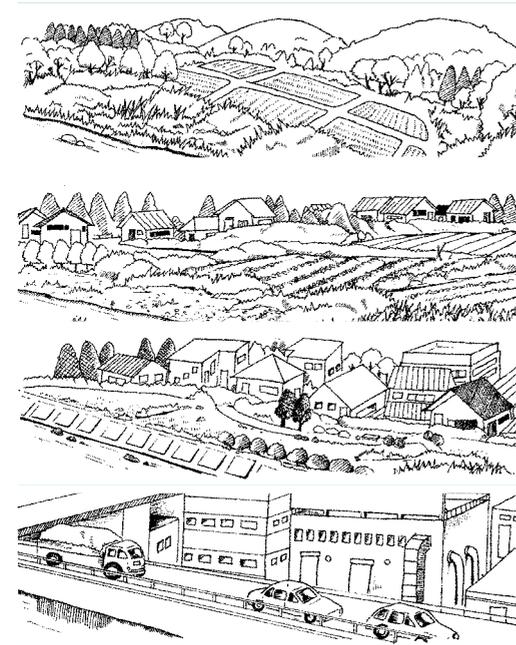


読んでから行ったり、行ってから読んだり。

参考図書

TITLE	著者	出版社	価格
■川がつくった川、人がつくった川	大熊孝 著	ポプラ社	1553円
■川との出会いー自然をみつける物語	小野有五 著	岩波書店	1845円
■調べる・身近な環境	小倉紀雄 著	講談社 <small>プラス</small>	820円
■日本列島の健康診断2 日本の川	水野信彦・君塚芳輝	草土文化	2427円
■日本の川遊び (子どもとはじめる自然「冒険」図鑑3)	大塚高男 著	岩波書店	1456円
■川の自然かんさつ	NACS-J	NACS-J	380円
■指標生物ー自然をみるものさし	NACS-J 編	平凡社	2000円
■川と開発を考える	日弁連公害対策 環境保全委員会編	実教出版	2000円

1 川のまわりのようす



- 3点** 川のまわりは林、草原、ヨシ原かまたは田畑などで人家は少ない。
- 2点** 田畑と人家がまざっている。
- 1点** 川のすぐ近くまで人家がきている。
- 0点** 人家や工場が密集している。

2 土手と川のあいだのようす



- 3点** 川の流れのそばや河川敷の中に、草はらだけでなく、林がある。下流の場合、広いヨシ原が広がる。ほとんどが自然で、人の利用はあまり見られない。
- 2点** 背丈の高いオギやヨシも含め、自然の草はらの割合が多い。林は見られない。運動公園やゴルフ場などに利用されている割合は、3分の1以下。
- 1点** 自然の草はら・草むらはあるが、まばらである。運動公園やゴルフ場の割合は3分の1以上。
- 0点** ほとんどが公園やゴルフ場。あるいは砂利をとったり工事が行われている。

行って
みよう
参考図書

自然
しらべ
1

しらべ
こと
2

しらべ
こと
3

しらべ
こと
4

しらべ
こと
5

しらべ
こと
6

まとめ
かた

記入
シート

2000年
まとめ

川のまわりの
ようす

土手と川の
あいだのようす

流れの
ようす

水きりと
川底のようす

山の
よこれ

川の
鳥のようす

結果の
みかた

記入して
みよう

過去の
記録

行って
みよう
参考図書

しらべ
こと
1

しらべ
こと
2

しらべ
こと
3

しらべ
こと
4

しらべ
こと
5

しらべ
こと
6

まとめ
かた

記入
シート

2000年
まとめ

川のまわりの
ようす

土手と川の
あいだのようす

流れの
ようす

水きりと
川底のようす

川の
よこれ

川の
鳥のようす

結果の
みかた

記入して
みよう

過去の
記録

みじかな一句

ムベの実も 青い若葉も 夏のいろ

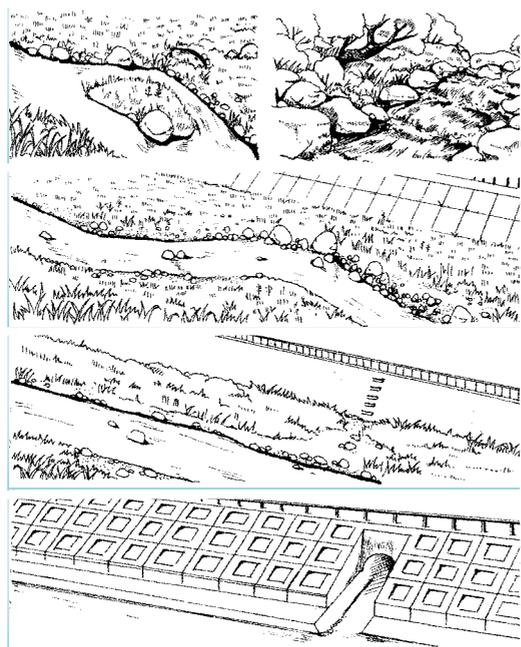
埼玉県 / 新谷文嘉さん

みじかな一句

犬つれて 夕日に向かって歩く道 私の心に 今もかがやく

大阪府 / 近藤幸恵さん

3 流れのようす



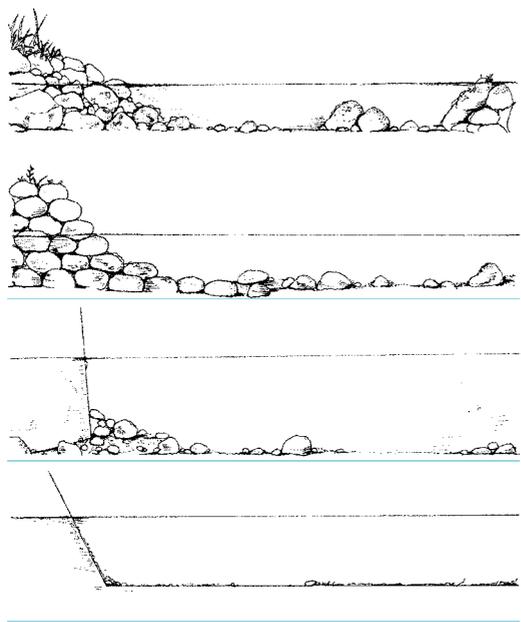
3点
川原の中を蛇行していて、中州や川原の中に池がある。上流や中流の場合は、瀬や淵（滝や滝つぼなど）があり、水の流れが別れる分流がある。

2点
中州や池は少ないが、川原の中を蛇行して流れている。上流や中流の場合は、瀬や淵は見られるが、分流は見られない。

1点
砂や石がたまったところや、その上に生えた草むらはあるが、川はほとんどまっすぐに流れている。

0点
砂や石のたまるどころもなく、排水路のように流れている。

4 水ぎわと川底のようす



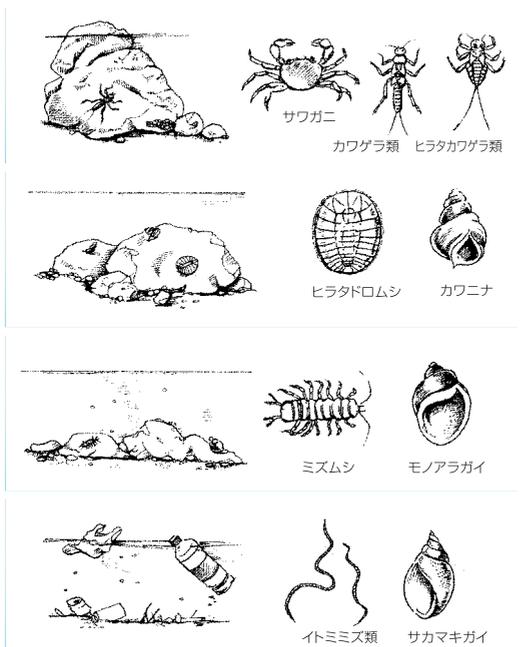
3点
石や砂が自然のままの状態。流れが強いと石や砂が運ばれる。水ぎわは、自然の植生に覆われていたり、自然の岩や土の崖になっている場合もある。

2点
水ぎわは人の手によって石が積まれているが、コンクリートなどで固められていない。場合によっては石積みが植物で覆われ、川底は自然に近い状態。

1点
水ぎわはコンクリートで固められているが、川底は人手が加わっていても固められてはいない。

0点
水ぎわも川底もコンクリートで固められている。

5 川のおごれ



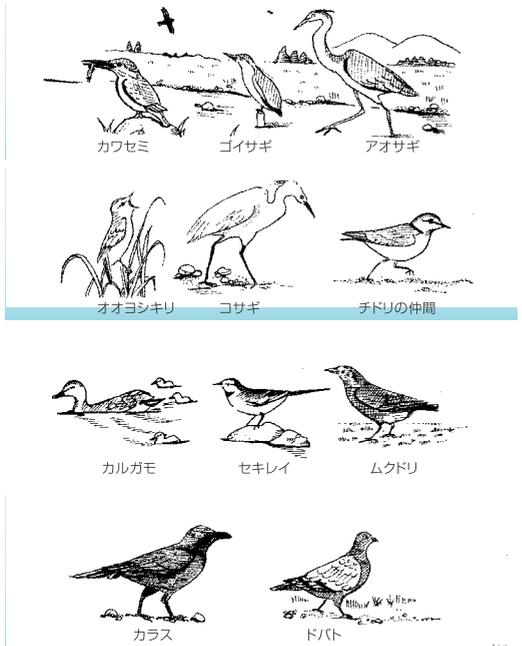
3点
水は澄んでいて、サワガニ、カワゲラ、カゲロウなどの水生昆虫がいる。

2点
わりあいきれいな水で、ヒラタドロムシやカワニナなどがある。

1点
水はやや濁っていて、生物の種類数は少ない。ミズムシ、モノアラガイなどがある。

0点
水は非常に濁っていて、川底の泥は黒っぽい。イトミミズ、サカマキガイなどがある。

6 川の鳥のようす



3点
川のどの場所にも何種類もの野鳥の姿が目に入る。

2点
水面や川原を使ってくらす野鳥がいる。
例：白い鳥（サギの仲間、カモメの仲間）
群れている鳥（ツバメの集団、カルガモのグループ）
良く鳴く鳥（ヒバリ、オオヨシキリ、チドリ仲間など）

1点
よく見られる鳥は、公園の池でも見られる鳥と同じ。

0点
カラスやドバトしか見られない。

まとめ方について

自然しらべ 結果のみかた

あなたの川にはどのくらい自然が残されていましたか？

これまでしらべた6つの項目の点数を足して、そこにダムとわき水の点数を加減します。出てきた合計点で、あなたの川に自然がどのくらい残されているかがわかります。



-3点

人の背丈よりかなり高いダムがあるとき
3点をひく

-1点

人の背丈がそれより低いダムやせきがあるとき
1点をひく

+2点

わき水があるとき
2点をたす

わき水

わき水のはたらきはきれいな水で川のおよごれを薄めるだけではありません。わき水を好んで住む動植物のすみかになっています。

あなたの川の合計点

- **15~20点** 自然がたいへん豊かな川。川の利用を考える時も、まずこの自然を残すことを先決にしてください。
- **9~14点** 自然が豊かな川。これ以上自然が失われないように注意しましょう。
- **3~8点** 自然を豊かにしたい川。自然回復の方法を考えていきましょう。
- **-3~-2点** 自然をもっと豊かにしたい川。少しでも川の自然を取りもどす努力をしましょう。

自然しらべ 「川」をおえて

近年、人と川とのつきあい方が、どうも人間の都合にかたよりすぎたようです。

2000年の自然しらべの結果からもそのようすがうかがえます。そのため豊かな川の自然が損なわれ、我々もその恩恵を忘れてしまいがちでした。もう一度、川と人とのつきあい方を考え直す時期にきているのではないのでしょうか？この時行ったアンケートによると川と人とのより良いつきあい方を求めて、いろいろな活動が行われていることがわかりました。自分の住んでいるところの川に関心を持ち、実際に行ってみること、見続けることが大切です。

記入シート



(1) 自然しらべを行った日と行った人を書いてください。

行った日: ____年 ____月 ____日 (午前・午後) 天気: _____

行った人: _____

(2) あなたのえらんだ場所は？

しらべた川の住所:

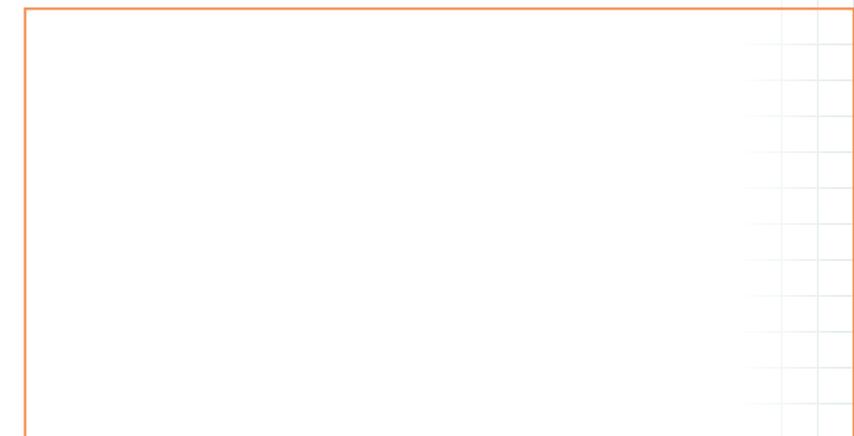
川の名前: _____ の (上流・中流・下流)

(3) 自然しらべの結果を表にしてください。

1. 川のまわりのようす	_____	点
2. 土手と川のあいだのようす	_____	点
3. 流れのようす	_____	点
4. 水ぎわと川底のようす	_____	点
5. 水のおよごれ	_____	点
6. 川の鳥のようす	_____	点

計 _____ 点

(4) しらべた川の様子を地図にしてみましょう。



川の流れ(矢印)や橋や、道路や近くの集落の名前などを書き込んで下さい。

みんなで見れば、見えてくる。

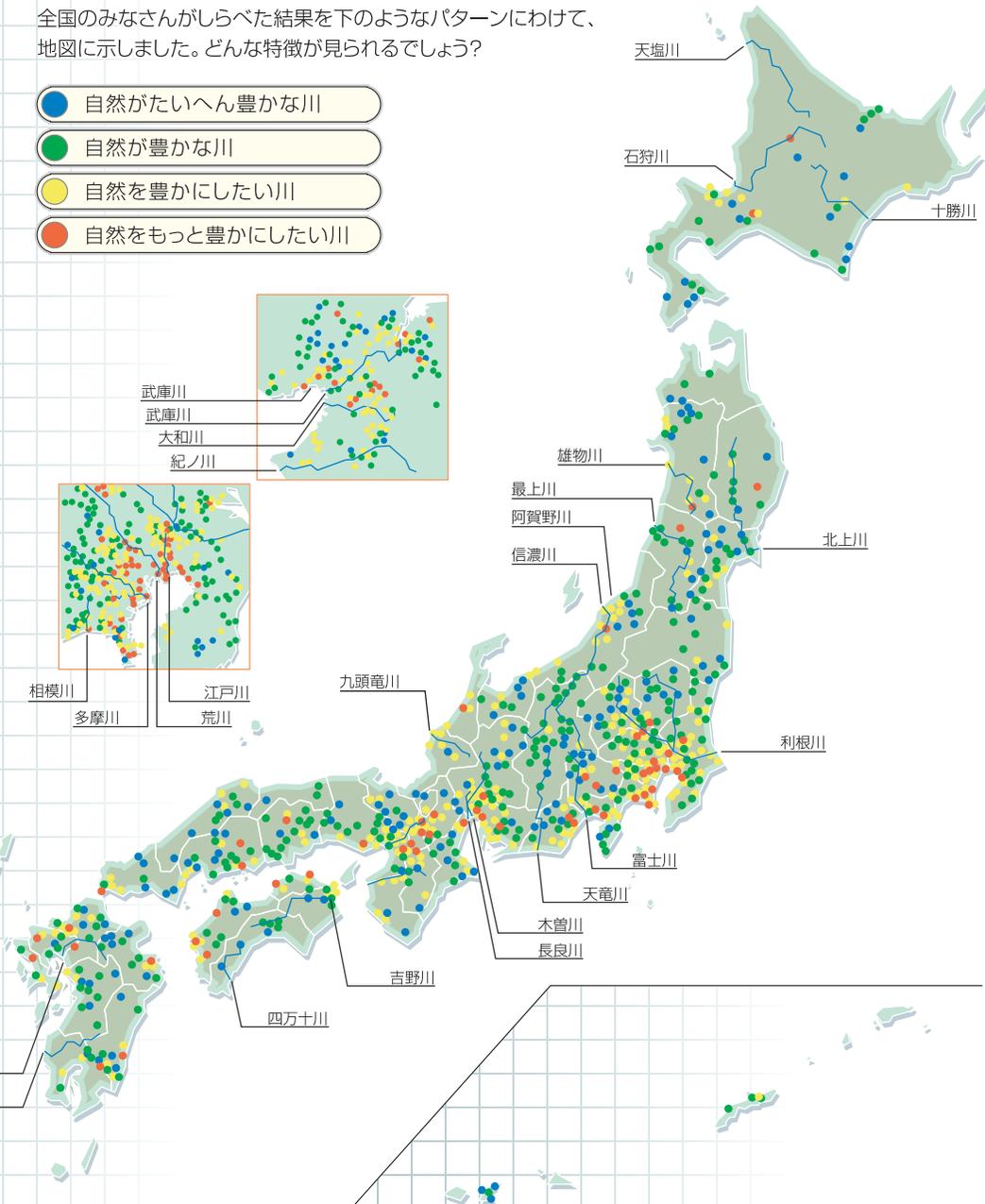
～2000年の川のように～

全国のみなさんにしらべていただいた結果をまとめました。

川のように見方

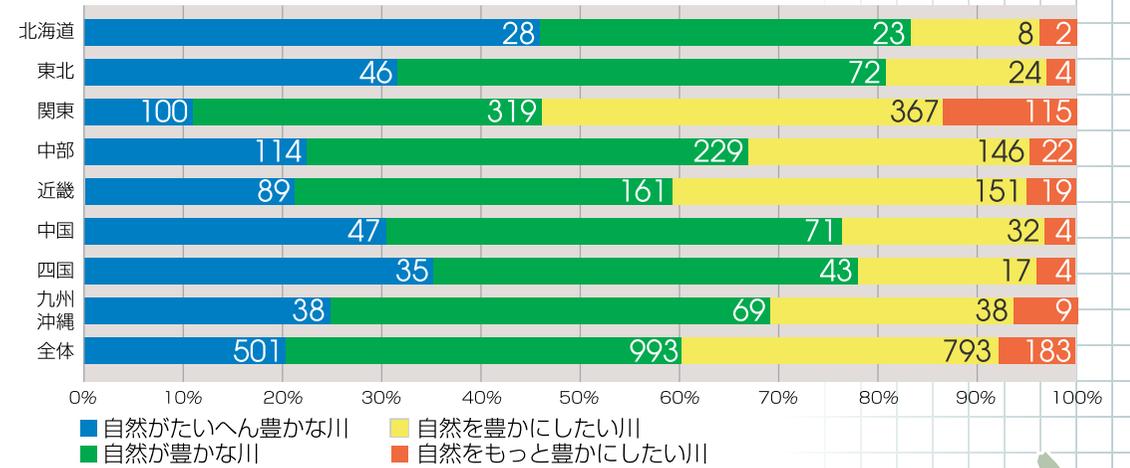
全国のみなさんがしらべた結果を下のようなパターンにわけて、地図に示しました。どんな特徴が見られるでしょう？

- 自然がたいへん豊かな川
- 自然が豊かな川
- 自然を豊かにしたい川
- 自然をもっと豊かにしたい川

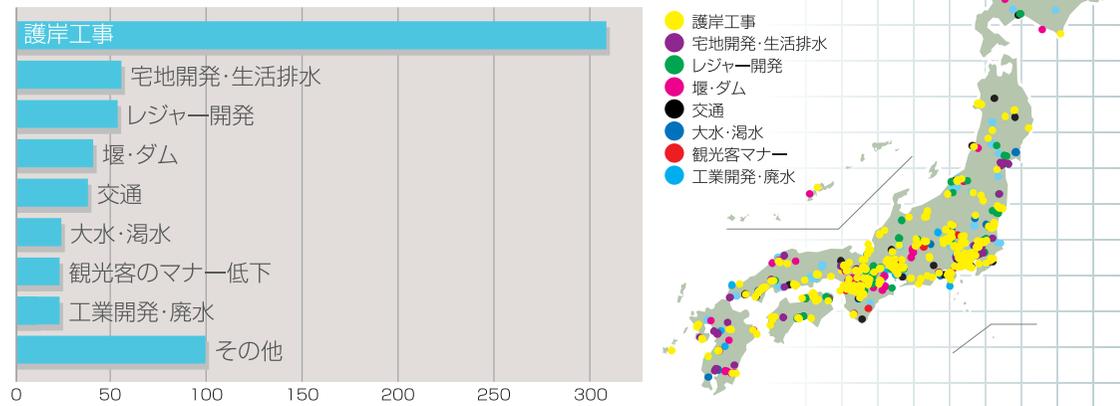


もっとくわしく見てみる。

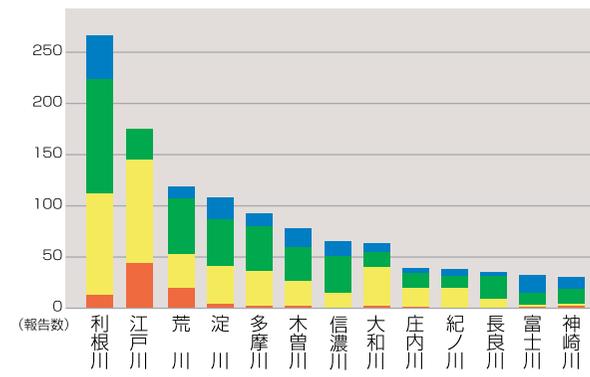
地方別で見ると（グラフの中の数字は報告数）



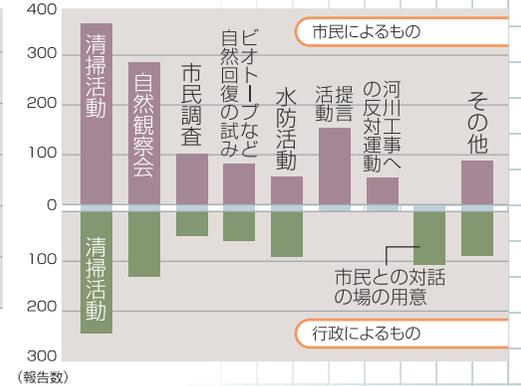
悪い影響を与えている人間活動は？



水系別に見てみると



どのようにして守られている？（上下同一項目）



みじかな一句

満潮に 根っこ広げし 磯つばき 今朝の開花を 我は見えており

三重県 / 小山充さん

みじかな一句

大野原 夜空に酔いし 萩の月

京都府 / 蝦名正人さん

声のまわりの
おとつ

水まわりの
おとつ

声のまわりの
植物

水まわりの
動物

ごみの
おとつ

水の
よこれ

結果の
みかた

記入して
みましょう

過去の
記録

観察の注意点

天候の変化に注意しましょう。海では大波がある時は、波打ち際に近づかない方が良いでしょう。また、地震を感じたら海が静かなときも高台に避難しましょう。津波がやってくるかもしれません。

もし、海の中に入る時は、潮流にも注意が必要です。海の波や潮流については、漁師さんのようなその海に詳しい地元の人のお話を聞きましょう。また、潮はあつという間に満ちてきますので注意してください。自然をじっくり観察するには、潮が引いている時の方が適しているため、新聞などで潮の満ち引きの時間を調べていきましょう。また、貝殻やフジツボなどで手足を切ったり、ウニのとげが刺さったりしないよう注意してください。磯ではサンダルなどではなく、スニーカーなどをはくことをおすすめします。

気をつけよう

岩場などはすべりやすいので気をつけよう。



気をつけよう

水の中に住む生き物には、トゲがあったり、毒を持つものがある。



気をつけよう

海は日よげがない。日しゃ病には気をつけよう。



気をつけよう

海での観察は、新聞や潮時表であらかじめ潮の満ち干をしらべておこう。



気をつけよう

突然の大波やうねりには気をつけよう。



観察のポイント

波打ち際には、人が捨てたものだけでなく、自然のものもありませんか。流木や藻、魚やカニなどの死骸、木の実などが打ち上げられていませんか。貝殻も海の中に住んでいる貝が打ち上げられたものです。多いものは何だろう、どこからやってきたんだろうと観察していると、海の中のような様子や、海流のようなものがわかってきます。よく見ると、打ち上げられた木などには他の海の生き物がくっついていたりもします。磯では、しおだまり(みずたまり)をのぞいてみましょう。まわりの海の中にいる生き物やそのこどもたちが、いませんか。

ゴミのようすをみたら、帰りがけに回収していくようにしましょう。また、自然のものは打ち上げられた後どうなっていくか考えてみましょう。

みじかな一句

朝日あび フェンスにまぎつく 朝顔や

奈良県 / 谷野健児さん

「海・湖沼」って どんなところ？

とくちょう

特徴

海に囲まれ 湖や沼の多い日本

海辺や湖・沼の岸辺の自然は、場所によってようすが違います。

例えば海辺。ごつごつした岩に、波がど〜んとあたって砕けているような岩礁・磯があるかと思うと、細かい砂粒が波に洗われる砂浜、石ころがごろごろしているレキ浜、潮が引くと非常に細かい砂や泥からなる平らな土地が広がる干潟などいろいろな姿があります。それは、波あたりや潮の流れ方によって作られた違いです。

そして、それぞれのところには、そこに適した生き物が住んでいます。同じ貝でも、砂浜では、穴を掘って暮らす種類がほとんどですし、岩場では岩にへばりつくような貝が住んでいます。南の海のサンゴ礁は、生き物がつくった礁という土台の上に多様な生き物たちの世界が広がっています。

湖や沼の岸辺も同じです。岩場もあれば、砂浜もある。海と比べて波がなかったり、潮気がありませんから、静かなところでは、ヨシ原や林が岸辺まで広がるところもあります。

海辺や岸辺は
私達の暮らしや文化にかかわる
大切な自然です。



みじかな一句

生き生きと 来たりぬ夏は 野の子らに

兵庫県 / 黒沢実さん

さあ、「海・湖沼」に行ってみよう



あなたがしらべるのは海ですか？それとも湖や沼ですか？
海のうちでも、砂浜ですか？岩礁ですか？
そのことをまずチェックしてください（P34の記入シート2を見てください）。そして、それぞれの特徴を観察しながら、
感じながら、「自然しらべ」をすすめてください。



読んでから行ったり、行ってから読んだり。

参考図書

TITLE	著者	出版社	価格
■いその自然かんさつ	NACS-J	NACS-J	400円
■指標生物	NACS-J編	平凡社	2060円
■川・池の生物	管野徹	小学館	1480円
■高山・海岸の植物	牧野晩成	小学館	1480円
■海辺の生物	管野徹	小学館	1480円
■人里の自然	芹沢俊介	保育社	2300円
■ため池の自然学入門	合同出版	合同出版社	1600円
■水べの生物	小学館	小学館	1500円
■水の生物	学習研究社	学習研究社	1500円
■砂浜の発見ービーチコーミング入門ー		平塚市博物館	

みじかな一句

冬近し 川面に遊ぶ カモの声

大分県／見河猛さん

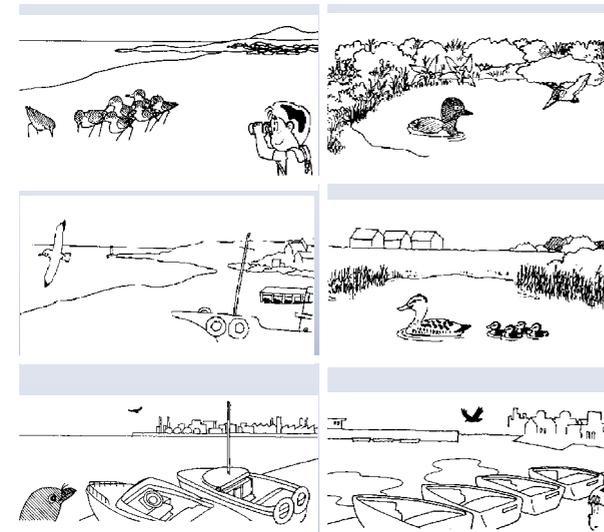
点数のつけ方

イラストを参考に点数をつけてください。

10点と5点の間と思うときは7点
5点と0点の間と思うときは3点

1 岸のまわりのようす

まず、全体が見える場所に立って眺めてみましょう。



10点

岸の近くには、建物や人工物が見えたり、林があったり、木々に囲まれている。

5点

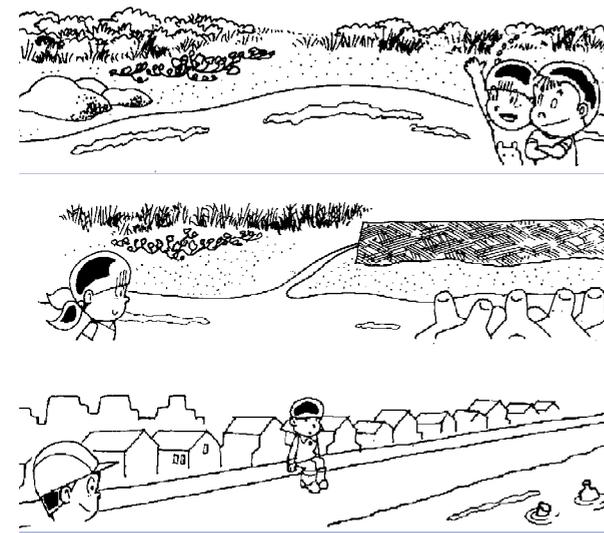
岸の近くには人家や防波堤などがみられるが、風景に溶け込んでいる。

0点

岸の近くまで人家や工場などが迫っていて、風景を台無しにしている。

2 水ぎわのようす

近づいて見てみましょう。



10点

水ぎわは、自然状態がよく保たれ、人工物が見あたらない。

5点

水ぎわの一部がコンクリート護岸されていたり、水ぎわ近くにコンクリートブロックやテトラポットなどが置かれている。

0点

水ぎわが、コンクリートに覆われている。人間の生活域が水ぎわぎりぎりの所まできている。

みじかな一句

歩くたび 緑のおむかえ 並木道

千葉県／小田麻恵さん

行ってみよう

参考図書

しらべること

しらべること

しらべること

しらべること

しらべること

しらべること

まとめかた

記入シート

1996年
まとめ

岸のまわりの
ようす

水ぎわの
ようす

岸のまわりの
植物

水ぎわの
動物

ごみの
ようす

水の
よごれ

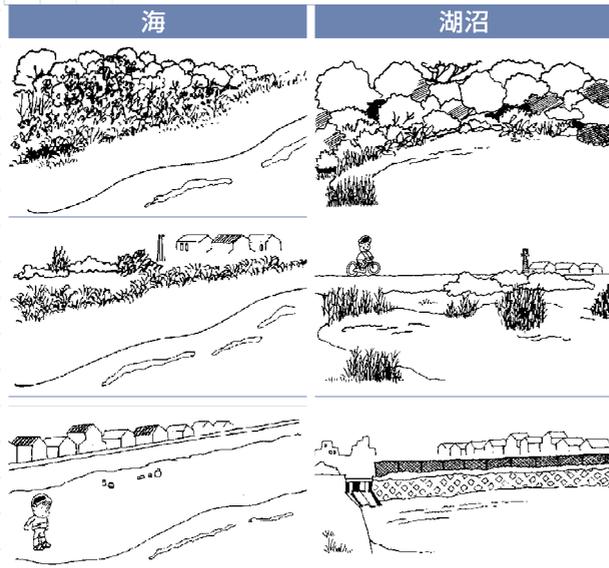
結果の
みかた

記入して
みましよう

過去の
記録

3 岸のまわりの植物

どんな植物が見られましたか？



10点

海 岸には、背の低い植物があり、徐々に背の高い植物にかわり、森や林になっている。

湖沼 水ぎわには、ガマなどの水生植物があり、これに続くように岸には背の低い植物が見られ、森や林につながっている。

5点

海 岸にはまばらに植物が残っている。

湖沼 岸にはまばらに植物が残っている。アシなどの水生植物が見られる。

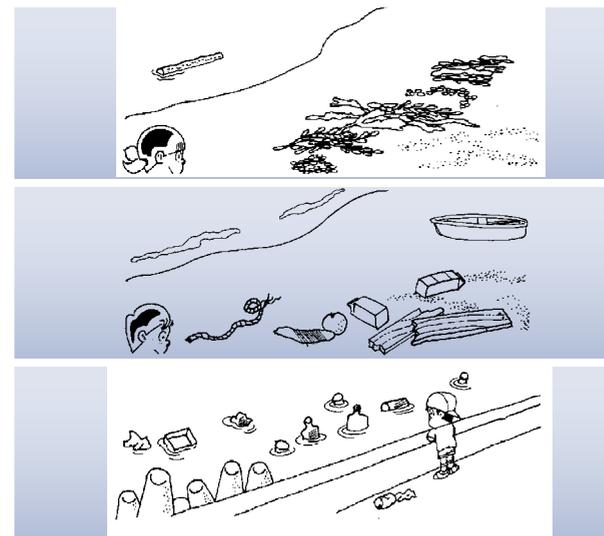
0点

岸には植物がまったく見られない。



5 ごみのようす

ゴミが捨てられていましたか？



10点

流れついたものや、浮かんでいるものが、流木や流れ藻など自然のもの。

5点

自然のもの以外に、人間が出したごみもみられる。ごみのほとんどは、木材製品や野菜くずなど、自然分解しやすいもの。

0点

プラスチック製品や、ジュースやビールの缶など、自然分解ができないごみ。



行ってみよう

参考図書

しらべること

しらべること

しらべること

しらべること

しらべること

しらべること

まとめかた

記入シート

1996年
まとめ

岸のまわりの
ようす

水ぎわの
ようす

岸のまわりの
植物

水ぎわの
動物

ごみの
ようす

水の
よごれ

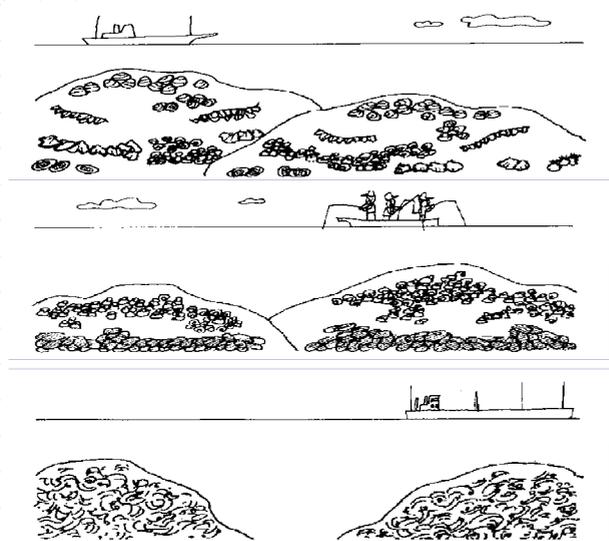
結果の
みかた

記入して
みましよう

過去の
記録

4 水ぎわの動物

どんな動物が見られましたか？



10点

水ぎわには、いろいろな種類の動物が見られる。

5点

水ぎわに動物は見られるが、種類が少なく1~2種類の動物で占められている。

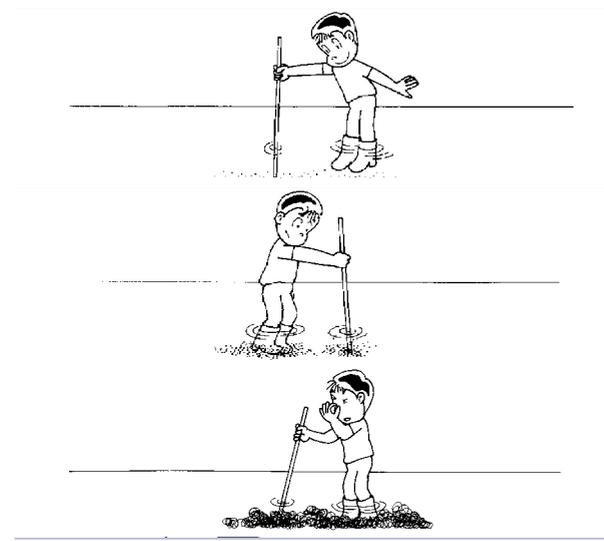
0点

動物の姿はほとんど見あたらない。



6 水のよごれ

水はどのくらいよごれているでしょうか？



10点

ながぐつのはきかたがはっきり見える。水にはいってもほとんど濁らない。異臭はない。

5点

ながぐつのはきかたは見えるが、はっきりとは見えず、濁っている。水に入ったとき、水底からけむりがたつ。特に異臭はない。

0点

ながぐつのはきかたがまったく見えない。水に入ったとき、水底からドロや泡がまき上がる。ドブ臭いにおいがする。



みじかな一句

竹の根が 地の底をはって 天に達する

静岡県 / 勝山鏡之さん

みじかな一句

いつの日か「この木程まで育てよ」と父に言われた 言葉は今も

千葉県 / 清水規宏さん

まとめ方について

自然しらべ 結果のみかた

あなたの海・湖沼にはどのくらい自然が残されていましたか？

あなたがしらべたところは、何点でしたか？

点数が高いほど、すばらしい自然だということができます。

でも、もしそこがため池だったらどうでしょうか。ため池はもともとあった自然をこわして、農業用の水をためるために人が作ったもので、自然にできたものではありません。作られた当時に、もしこの自然しらべを行っていたならば、0点に近かったと思います。しかし、長い年月を経た今では、植物や動物がため池のまわりやその中にすむようになり、自然が豊かになってきています。このようなところは、例えば点数がそんなに高くなくても、これからも大切な自然として残していく必要があると思います。

このように、同じ30点でも、しらべた場所によってその点数が意味することは違ってきます。あなたがしらべた場所の点数が高いと安心してはできませんし、低いからといってがっかりする必要がないこともあります。

調べた結果をいろいろな見方で考えてみてください。

あなたの海・湖沼の合計点

- **47~60** 点 すばらしい自然です。今後も自然をうまくいかした利用を考えましょう。
- **33~46** 点 自然がこわれはじめています。原因をつきとめて、今のうちに回復の方法を考えましょう。
- **19~32** 点 このままでは自然がこわれてしまいます。自然の保護と利用について考えなければなりません。
- **0~18** 点 自然が大きくこわれています。自然を復活させる努力をしなければ、私たちの生活に影響がでてくるでしょう。

自然しらべ 「海・湖沼」をおえて

1996年の自然しらべの結果をみると、自然が損なわれている海辺や岸辺が全国に広がっているようすがうかがえます。特に関東、東海、近畿、瀬戸内沿岸から北九州にかけてははっきりしています。また、沖縄の海辺も結構損なわれていることがわかります。

埋立・干拓工事や護岸工事によって、もともとの自然状態の海辺・岸辺がずいぶん減ってきています。水質の汚染も未だに悪影響を及ぼしています。湖や沼では、それらに加えてブラックバスなどの外国からやってきた魚たちがその自然にダメージを与えています。

一方で、海辺、岸辺を、より良い自然に戻していこうという努力も始まっています。あなたのところの海辺・岸辺がどのように変わっていくのか、是非チェックし続けてください。

みじかな一句

投機ゴミ 拾い上げれば ツルリンドウ モやしとなりて

長野県／辺見茂子さん

記入シート



(1) 自然しらべを行った日と行った人を書いてください。

行った日: ____年 ____月 ____日 (午前・午後) 天気: _____

行った人: _____

(2) あなたのえらんだ場所は？

海岸の場合: a. 岩礁・サンゴ礁 b. レキ浜 c. 砂浜 d. 干潟 e. 人工的な海岸

湖沼の場合: f. 湖 g. 沼・池 h. ため池 i. 人造湖(ダムなど)

(3) 自然しらべの結果を表にしてください。

1. 岸のまわりのようす	_____	点
2. 水ぎわのようす	_____	点
3. 岸のまわりの植物	_____	点
4. 水ぎわの動物	_____	点
5. ごみのようす	_____	点
6. 水のごみ	_____	点

計 _____ 点

(4) しらべた海・湖沼の様子を地図にしてみよう。



橋や、道路や近くの集落の名前などを書き込んで下さい。

みじかな一句

見た目には 清楚だけれども 手に余る あの草たちはどこからきたの

静岡県／鴨川典子さん

みんなで見れば、見えてくる。

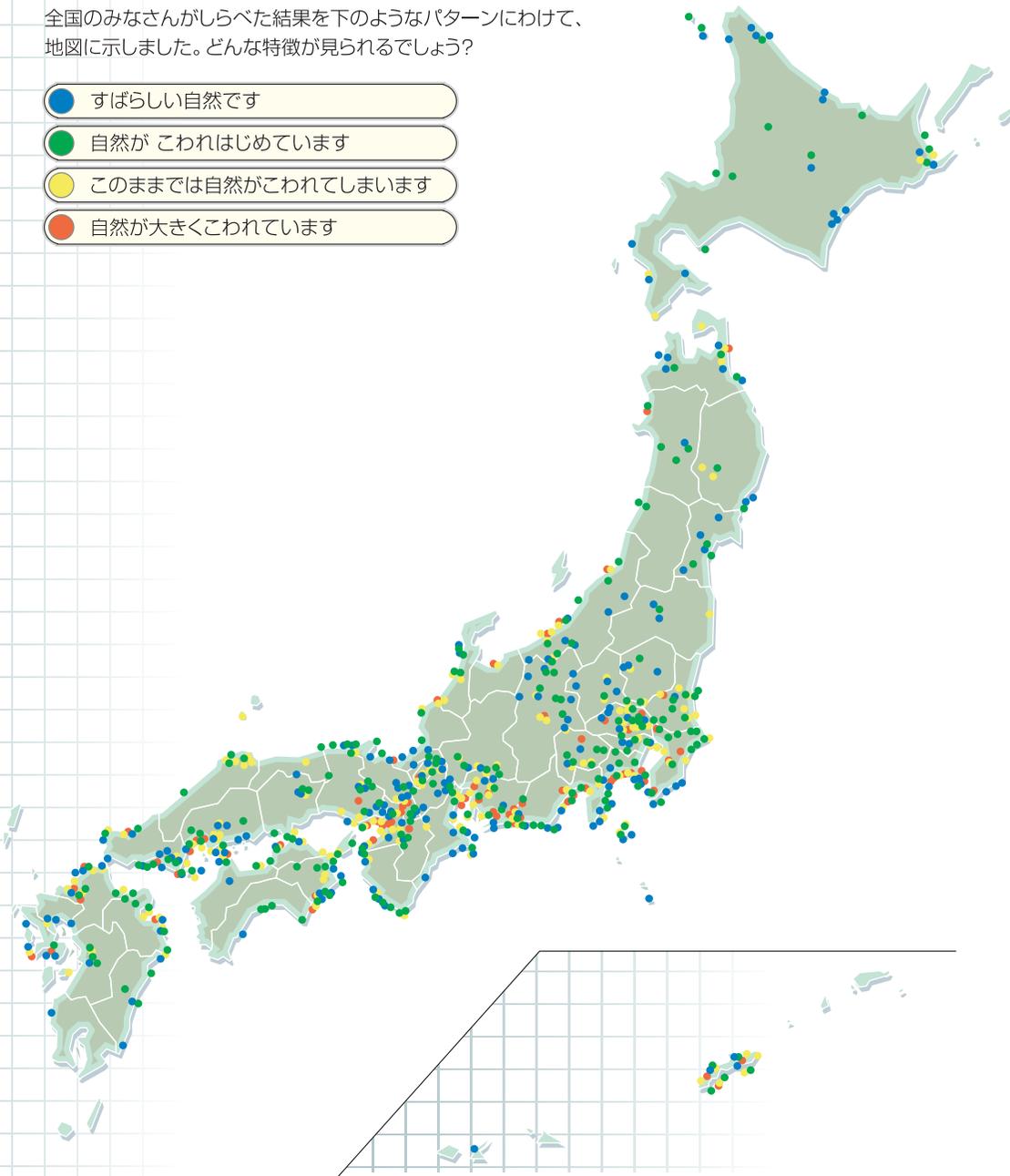
～1996年の海・湖沼のようす～

全国のみなさんにしらべていただいた結果をまとめました。

海・湖沼のようすの見方

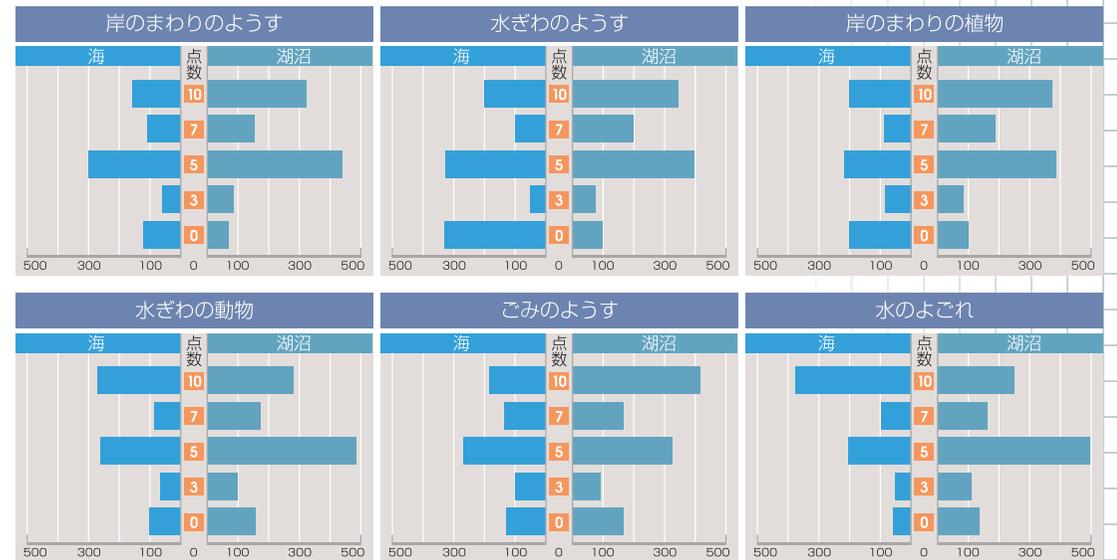
全国のみなさんがしらべた結果を下のようなパターンにわけて、地図に示しました。どんな特徴が見られるでしょう？

- すばらしい自然です
- 自然が こわれはじめています
- このままでは自然がこわれてしまいます
- 自然が大きくこわれています

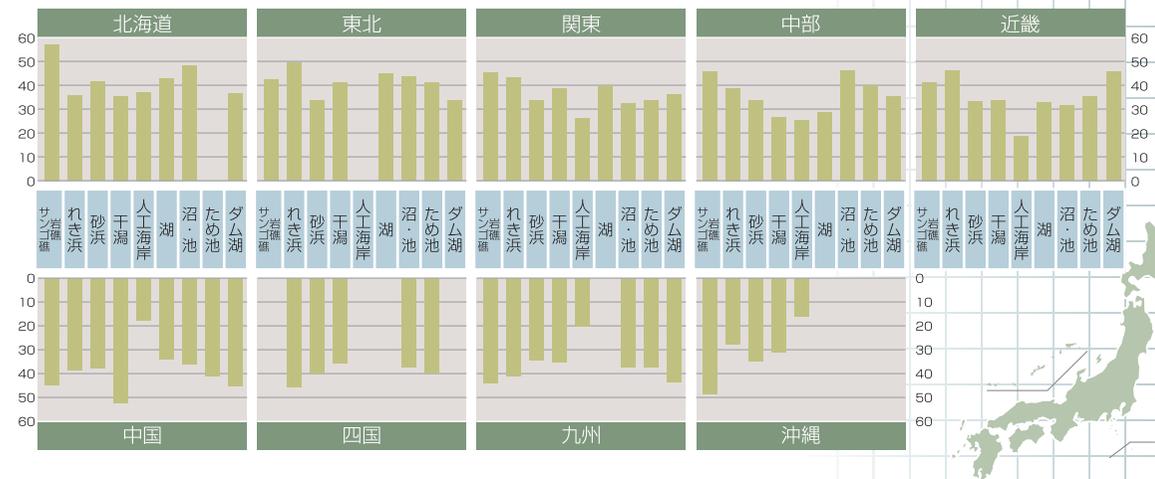


もっとくわしく見てみる。

それぞれの自然度を見てみると



地域別に見てみると



あそびかたをみてみると

海	釣り	430	自然観察会	83	サイクリング	24	湖沼	釣り	430	バーベキュー	83	凧上げ	24
	散歩	370	バードウォッチング	50	お祭り	23		散歩	370	水泳	50	ボート	23
	水泳	182	サーフィン	43	カヌー	21		バードウォッチング	182	お祭り	43	モーターボート	21
	花火	181	ビーチバレー	40	凧上げ	20		自然観察会	181	ジェットスキー	40	ウインドサーフィン	20
	魚捕り	129	モーターボート	40	虫捕り	10		虫捕り	129	ヨット	40	ブギーボード	10
	バーベキュー	128	写生	40	4WD	8		花火	128	カヌー	40	モトクロス	8
	ジェットスキー	122	ヨット	34				魚捕り	122	野球	34		
	潮干狩り	121	水上スキー	32				写生	121	サッカー	32		
	ウインドサーフィン	90	ダイビング	26				サイクリング	90	水上スキー	26		

みじかな一句

なつかしや 村の楠の木 せみの声 麦わらかぶった子らの笑い声

愛媛県 / 河村康さん

みじかな一句

55年 夢見て育てた青山も 赤土むきだし たった一日で

大分県 / 佐藤郁子さん

2001年度
自然しらべ

あっ!見つけた! 「気になる」自然



「自然しらべ」は、1995年から「川」、「海・湖沼」、「里やま」といった自然を対象にして行なってきました。でも、街の中にはもっと身近な自然もあるはず。家の庭、校庭の木や草花、街路樹や生垣、公園の木々や草地なども身近な自然です。そこで、2001年は、そんな街の自然も対象になるように、ふだんから気になっている自然や「自然しらべ」で外に出て気になった自然について教えてもらいました。教えていただいたのは、その場所がどこかということと次のような項目です。

- Q1 なぜこの身近な自然が気になったのですか？
- Q2 それはどんな場所の自然ですか？
- Q3 その自然であなたはどんなことをしてきましたか？
- Q4 これからその自然は守っていけそう？

その結果は、39ページと40ページにまとめてあります。そして、このような質問だけでなく、その『「気になる」自然』を絵や写真、俳句や詩などの作品で表現をしていただきました。

この冊子に載っている写真や絵、俳句やひとはその作品です。皆さんも身近な自然をいろいろな形で表現してみてください。いかがでしょうか？また自然が違って見えてくるとおもいます。



参加していただいた方々 (順不同)

中野力 田中清一 安橋徹 厚谷マリ子 清水和男 藤田ナツ子 渡辺茂 中澤誠一 澤田八郎 安藤雅人 坂部道子 森悦子 森康伸 菊地美智子 福原健太 長原有美 秋山鏡幸 上野ととえ 藤岡洋子 佐藤英衣 松山鏡久 浅香良典 柴山祐亮 富田由貴 菅井空 池田美智代 安田紗子 九里知佳 谷本絵理 佐藤沙矢香 木路ゆづり 山内由香理 竹田美 かどきさゆり 下向絵 亀原輝男 中村紗由里 斎藤舞美 鎌田新次 馬場美幸 川村宣子 中村紗也香 山崎芳 松田宏美 豊瀬恒介・恵里 宮野正廣 菅原壮 菅原壮徳 斎藤洋子 大宮見 森後彦 鈴木達子 菅原伸恵 北山潔 北山智恵 達子潤 梅田市美 佐藤ふじ子 佐藤洋子	河瀬功 野村洋一 小野瀬祐一 滑川敏行 小倉裕巳 西野恵美 村松加奈恵 堀田博 青木夕夕 柳沼良一 青木周二 山根幸美 宮田純 鹿島文雄 渡辺悦子 池田昭 毛塚博子 毛塚峰幸 渡辺典由美 河合清定 松山鏡久 浅香良典 柴山祐亮 富田由貴 菅井空 池田美智代 安田紗子 九里知佳 谷本絵理 佐藤沙矢香 木路ゆづり 山内由香理 竹田美 かどきさゆり 下向絵 亀原輝男 中村紗由里 斎藤舞美 鎌田新次 馬場美幸 川村宣子 中村紗也香 山崎芳 松田宏美 豊瀬恒介・恵里 宮野正廣 菅原壮 菅原壮徳 斎藤洋子 大宮見 森後彦 鈴木達子 菅原伸恵 北山潔 北山智恵 達子潤 梅田市美 佐藤ふじ子 佐藤洋子	佐川絵美 福谷香 坂内ひとみ 嶋田友香 長郷江 佐藤小夜香 成田清美 中尾陽紗 高田智夫 小貝孝公 石野美樹 小原正明 佐佐佑子 小清水しおり 黒澤祥 工藤雄次郎 藤本力 新谷文嘉 建元善寿 二枚真仁 島居真代美 立左郎美 藤井由美子 谷津直和 豊田昌之 豊田一恵・育菜 牧野裕之 矢沢博 平沢信夫 山崎博 清水翔宏 小松麻未 篠田優子 篠田美穂 設楽和世 太田望斗 原田恵子 榎野奈美 加藤愛 藤田恵美 塚本優美 高野晴代 後藤麻佑 志村緑 吉田裕美 松岡ともる 斎藤丹 小畑江里 榎田望希 吉田紀久 須藤さち子 坂本奈緒美 堀江美雪 木場由香里 内村維子 大福和正	内山悠 大木悠 江口菜里 水村千実美 河崎麻衣 高岡賢二郎 正木さと子 本庄七美 小林孝夫 田端美 柴田大丈 中村正直・柴幸 山崎みよ子 大久保幸雄 加藤直子 吉谷博美 平塚久雄 中島莉紗 佐藤祐加 村野彩 島居真代美 立左郎美 藤井由美子 押田正雄 黒崎味加 山根三智子 矢沢博 平沢信夫 山崎博 清水翔宏 小松麻未 篠田優子 篠田美穂 設楽和世 太田望斗 原田恵子 榎野奈美 加藤愛 藤田恵美 塚本優美 高野晴代 後藤麻佑 志村緑 吉田裕美 松岡ともる 斎藤丹 小畑江里 榎田望希 吉田紀久 須藤さち子 坂本奈緒美 堀江美雪 木場由香里 内村維子 大福和正	本川幸子 白石千恵 池田真一 坂巻洋平・貴之 武市真衣 大沢知佳 大和田隆裕 阿瀬陽子 生澤恵美 若山夕子 柴田大丈 中村正直・柴幸 山崎みよ子 大久保幸雄 加藤直子 吉谷博美 平塚久雄 中島莉紗 佐藤祐加 村野彩 島居真代美 立左郎美 藤井由美子 押田正雄 黒崎味加 山根三智子 矢沢博 平沢信夫 山崎博 清水翔宏 小松麻未 篠田優子 篠田美穂 設楽和世 太田望斗 原田恵子 榎野奈美 加藤愛 藤田恵美 塚本優美 高野晴代 後藤麻佑 志村緑 吉田裕美 松岡ともる 斎藤丹 小畑江里 榎田望希 吉田紀久 須藤さち子 坂本奈緒美 堀江美雪 木場由香里 内村維子 大福和正	石橋祐希 長谷川苑子 川上翔 谷友絹 坂内郁美 赤池理恵 後藤田綾 田口佑子 生澤恵美 若山夕子 柴田大丈 中村正直・柴幸 山崎みよ子 大久保幸雄 加藤直子 吉谷博美 平塚久雄 中島莉紗 佐藤祐加 村野彩 島居真代美 立左郎美 藤井由美子 押田正雄 黒崎味加 山根三智子 矢沢博 平沢信夫 山崎博 清水翔宏 小松麻未 篠田優子 篠田美穂 設楽和世 太田望斗 原田恵子 榎野奈美 加藤愛 藤田恵美 塚本優美 高野晴代 後藤麻佑 志村緑 吉田裕美 松岡ともる 斎藤丹 小畑江里 榎田望希 吉田紀久 須藤さち子 坂本奈緒美 堀江美雪 木場由香里 内村維子 大福和正	足立清夏 三田恵 笹沢明美 古川照輔 植原亜弓 小峰久行 矢田麻耶子 藤村裕徳 古川照明 中島誠一郎 安藤緑 江川紫 孝本敏子 半藤和子 田村碩子 野田善之 野々山陽子 菊池久美子 小林章一 高木修 白子方彩 田中穂人 滝合弘 滝合智 大田又子 松本久恵 竹内時男 高橋菜穂 津久井理絵 佐藤平 野上紫香 保川柳子 長峯直郎 長峯直子 菊井美奈子 宮田潤一 豊田和佳子 佐藤典男 宮内元子 岩沢恒文 庭野晋夫 野上ナオ 北山治作 藤部英和 菅ゆづり 小室明彦 菅正典 都司知吉 石田雄三 窪添光浩 相楽悦男 斎藤利子 村石光子 本多照夫 宇田隆悦 井上謙 片山勝子 隅河内順子 萩原有美 江波久美紀 藤井加奈 加藤智子 石川一郎	三留央光 柴田直樹 成田明彦 西田隆重 金田正人 三留央光 田中雅裕 三留あすか 志村ととこ 西田隆重 金田正人 岩田尚一 成田明彦 田中雅宏 柴田直樹 五十嵐勇夫 佐久間勇 小林章一 高木修 白子方彩 田中穂人 滝合弘 滝合智 大田又子 松本久恵 竹内時男 高橋菜穂 津久井理絵 佐藤平 野上紫香 保川柳子 長峯直郎 長峯直子 菊井美奈子 宮田潤一 豊田和佳子 佐藤典男 宮内元子 岩沢恒文 庭野晋夫 野上ナオ 北山治作 藤部英和 菅ゆづり 小室明彦 菅正典 都司知吉 石田雄三 窪添光浩 相楽悦男 斎藤利子 村石光子 本多照夫 宇田隆悦 井上謙 片山勝子 隅河内順子 萩原有美 江波久美紀 藤井加奈 加藤智子 石川一郎	黒沢有紀子 児玉麻利子 有本実 中尾けさじ 本山秀治 鈴木さやか 鈴木義昭 中久保彰彦 藤山隆之 大島理由 藤山英二 大島眞一 成田明彦 田中雅宏 柴田直樹 五十嵐勇夫 佐久間勇 小林章一 高木修 白子方彩 田中穂人 滝合弘 滝合智 大田又子 松本久恵 竹内時男 高橋菜穂 津久井理絵 佐藤平 野上紫香 保川柳子 長峯直郎 長峯直子 菊井美奈子 宮田潤一 豊田和佳子 佐藤典男 宮内元子 岩沢恒文 庭野晋夫 野上ナオ 北山治作 藤部英和 菅ゆづり 小室明彦 菅正典 都司知吉 石田雄三 窪添光浩 相楽悦男 斎藤利子 村石光子 本多照夫 宇田隆悦 井上謙 片山勝子 隅河内順子 萩原有美 江波久美紀 藤井加奈 加藤智子 石川一郎	白龍正和 泉谷セツ 波多野嘉紀 小川杏 木村大地 小川隆平 福井結子 堀切勇児 吉和野郎 藤山隆之 中本二郎 藤山敦世 清水久美子 大島眞一 成田明彦 田中雅宏 柴田直樹 五十嵐勇夫 佐久間勇 小林章一 高木修 白子方彩 田中穂人 滝合弘 滝合智 大田又子 松本久恵 竹内時男 高橋菜穂 津久井理絵 佐藤平 野上紫香 保川柳子 長峯直郎 長峯直子 菊井美奈子 宮田潤一 豊田和佳子 佐藤典男 宮内元子 岩沢恒文 庭野晋夫 野上ナオ 北山治作 藤部英和 菅ゆづり 小室明彦 菅正典 都司知吉 石田雄三 窪添光浩 相楽悦男 斎藤利子 村石光子 本多照夫 宇田隆悦 井上謙 片山勝子 隅河内順子 萩原有美 江波久美紀 藤井加奈 加藤智子 石川一郎	柴田博史 河村良司 小川杏 木村大地 小川隆平 福井結子 堀切勇児 吉和野郎 藤山隆之 中本二郎 藤山敦世 清水久美子 大島眞一 成田明彦 田中雅宏 柴田直樹 五十嵐勇夫 佐久間勇 小林章一 高木修 白子方彩 田中穂人 滝合弘 滝合智 大田又子 松本久恵 竹内時男 高橋菜穂 津久井理絵 佐藤平 野上紫香 保川柳子 長峯直郎 長峯直子 菊井美奈子 宮田潤一 豊田和佳子 佐藤典男 宮内元子 岩沢恒文 庭野晋夫 野上ナオ 北山治作 藤部英和 菅ゆづり 小室明彦 菅正典 都司知吉 石田雄三 窪添光浩 相楽悦男 斎藤利子 村石光子 本多照夫 宇田隆悦 井上謙 片山勝子 隅河内順子 萩原有美 江波久美紀 藤井加奈 加藤智子 石川一郎	加藤絵美 藤谷美穂 南口圭 生多弘樹 栗川真子 福井結子 堀切勇児 吉和野郎 藤山隆之 中本二郎 藤山敦世 清水久美子 大島眞一 成田明彦 田中雅宏 柴田直樹 五十嵐勇夫 佐久間勇 小林章一 高木修 白子方彩 田中穂人 滝合弘 滝合智 大田又子 松本久恵 竹内時男 高橋菜穂 津久井理絵 佐藤平 野上紫香 保川柳子 長峯直郎 長峯直子 菊井美奈子 宮田潤一 豊田和佳子 佐藤典男 宮内元子 岩沢恒文 庭野晋夫 野上ナオ 北山治作 藤部英和 菅ゆづり 小室明彦 菅正典 都司知吉 石田雄三 窪添光浩 相楽悦男 斎藤利子 村石光子 本多照夫 宇田隆悦 井上謙 片山勝子 隅河内順子 萩原有美 江波久美紀 藤井加奈 加藤智子 石川一郎	和田秋生 幸島敦生 西川博 馬場清 中野恵 西村孝子 中森あー 尾方敏昭 尾方純司 堤孝代 荒木純治 森川真香 平島清貴 谷口美 岩永清吉 坂本博 坂本博也 松井朋之 見河猛 川野七子 小野金弥 河野浩一 久貝晋香 横田真衣 古和田真美 園山博
--	--	---	--	--	---	--	--	--	---	--	--	---

これらの方々全員から作品をお寄せいただきましたが、この冊子では紙面の都合上、一部のみを掲載させていただきます。

ご協賛いただいた企業 (順不同)

松下電器 リコー サニクリーン 本田技研工業 コスモ石油 宝酒造 アムラックストヨタ
シヤチハタ トヨタ自動車 ニコンビジョン 日本たばこ産業 富士ゼロックス 安田火災環境財団
モンベル 凸版印刷 資生堂 エバラ食品 日産自動車 リクルート
マガジンハウス「MUTTS」「ターザン」「クロワッサン」 朝日新聞社「AERA」「週刊日本百名山」
小学館「BE-PAL」 旅行読売出版社「旅行読売」 光文社「DIAS」 NTT-X「環境goo」「Hot Wired Japan」



埼玉県 / 戸田玲子さん



千葉県 / 石橋祐希さん



兵庫県 / 堀切勇児さん



千葉県 / 仲村明日香さん



愛媛県 / 福嶋淑子さん



愛媛県 / 鍋木友里さん



千葉県 / 中島莉紗さん



千葉県 / 川崎友梨子さん



熊本県 / 尾方敏昭さん



滋賀県 / 清水健さん

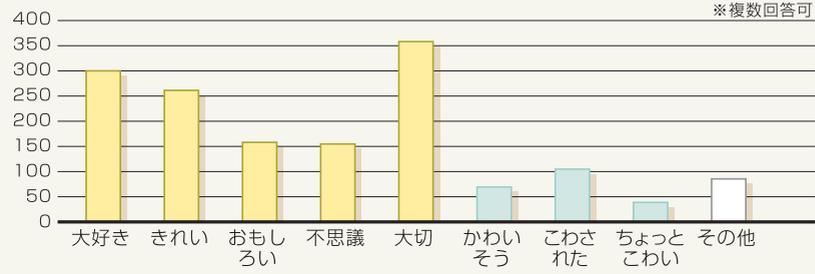


埼玉県 / 滝沢邦男さん

Report
2001年自然しらべから「みんなのひとこと」
■ まわりの自然を守るのももちろん、その自然との共生、住み別け、ライフスタイルをローインパクトに。長野県 / 小峰悦男さん
■ 青空がすごく好きだけど、山から見た空には、黒っぽいけむりみたいのが浮いていて、ショックだった。北海道 / 川村宣子さん

Report
■ 開発が進んだ中に残る自然は、ずっと消えることのないように。吹く風、木漏れ日。これが自然の恵みです。千葉県 / 平塚久雄さん
■ 木や森を壊していくのは簡単だけでも、もどに戻していくことはむずかしいと思いました。京都府 / 福井結子さん

Q1 なぜこの身近な自然が気になったのですか？

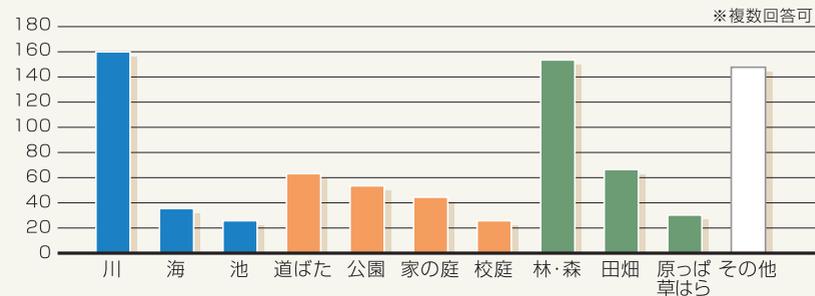


身近な自然を「大切」「大好き」「きれい」と思ってくれている人がとても多いね。感激だなあ！



ワクワク系 ハラハラ系 とに分かれています。

Q2 それはどんな場所の自然ですか？

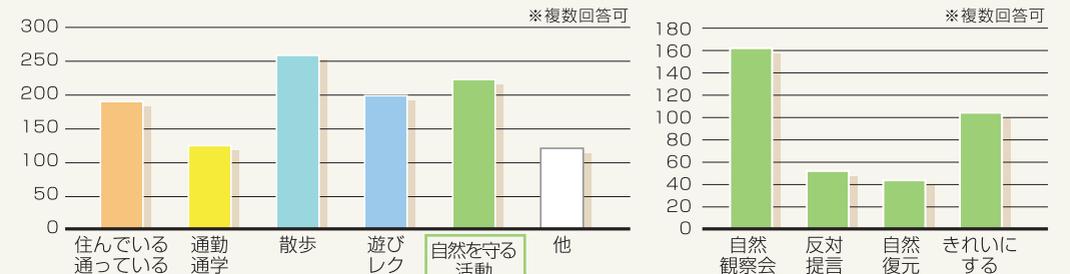


「林・森」の自然と「川」の自然を表現した作品が多いみたいだね。「その他」の自然では、空や季節についての作品も見られたよ。



大きく 水辺の自然 家のまわりの自然 山や田畑の自然 の3つに色分けされています。

Q3 その自然であなたはどんなことをしてきましたか？



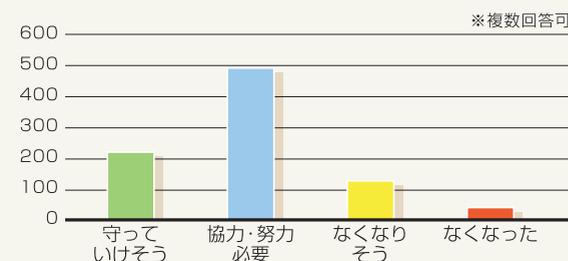
「散歩」をしていて「気になる」自然を教えてください。「自然を守る活動」をしくれる人もたくさんいるよ。



自然を守るためにした具体的な活動は？

「自然を守る活動」の中では「自然観察」がいちばん多いね。これからも増えるといいな。

Q4 それはどんな場所の自然ですか？



半分以上の人が、これからも「気になる」自然を守るために「協力・努力が必要」という意見だね。「守っていけそう」っていった人が2番目に多いのも、心強いなあ。



京都府/西部雄基さん



神奈川県/天海さん



千葉県/錦戸祐哉さん



埼玉県/小畑江里さん



埼玉県/藤井田美子さん



千葉県/鈴木麻起子さん



千葉県/黒沢愛子さん

Event Report 2001年自然しらべから「みんなのひとこと」

- その場所は高校にあったイチヨウ並木で、毎日そこを歩いて校舎に向かっていました。ギンナンになる季節になると、近所の人たちが拾いに来たりとゆくりとした高校生活の場だった。東京都/中村真澄さん
- 産卵期に水がなく、ゴールデンウィーク頃からは水遊びのため塩素減菌される公園内の池。ほんの少し融通をきかせてもらえば、人間の楽しいひとときも、ヒキガエルの生活もうまくいくのです。東京都/江川紫さん
- 実家の庭の用水路に今年はシジミが2ヶいたのにびっくりしました。ザリガニ、どじょう、空中散歩前にはホテルも出る所です。とてもいいところですよ。茨城県/西野恵美さん



宮城県/菅原伸恵さん



神奈川県/菅ゆう子さん



愛知県/福嶋淑子さん



滋賀県/中沢啓子さん



東京都/小口治男さん

Report

- 街の中にぽつんと生きていた。自分が住みやすくなった分、犠牲になったものは多そうだ。自然は大きな存在なはずなのに、身の回りには小さなものしかないと思った。埼玉県/戸田玲子さん
- 大切な思いでのたくさんつまった自然が徐々になくなっていきます。そしてその場所にはいつしか家々が建ち並び、跡形もなくなっています。すごくさびしいです。千葉県/楠木麻衣子さん
- 以前より遊ぶ人が多くなりゴミが増え、缶ビールなど目につくようなものも増えているので気になった。でもまだ水がきれいだったし、魚もいたので良かったです。これ以上汚れないようにみんなで気をつけることが大切。京都府/木下しのぶさん



「シゼンホゴフェス」

日本を変える一人になる
「シゼンホゴする100万人」キャンペーン

2001年12月
Report

中島朋子さん

シゼンホゴフェストークショー

profile

なかじま・ともこさん
1971年6月5日生まれ。北海道富良野を舞台にしたテレビドラマ「北の国から」の蛭ちゃん役、映画「ふたり」「TUGUMI」「パラサイトイブ」や舞台などで活躍。2001年春には、エッセイ集「雑草の生活」（新潮社）が発行された。小さな子どもが自然と出会う窓口として、お母さんの存在は大きいとしみじみ感じさせてくれるエッセイ集。

北海道で育まれたもの ～大きな自然～

最初に北海道の自然にであったのは7、8才くらいでした。東京から北海道へ行ったので、全て新鮮に感じました。撮影は待ち時間が多いんです。また、自然を荒らさないように撮影していますから、あまり動けない。その中で、一人で待っているとき、虫だとか、リスだとかが出てくる。一人で待つのは寂しいけど、東京で育ったら怖かっただろうクモも、見ていると時間を忘れて…。しぜんに自然と遊ぶことが身につきました。撮影は季節ごとに1ヶ月くらい行っています。だから、自然のなまめかしい厳しさとおもしろさを共に味わえました。冬のきれいな景色、その寒さの裏とした感じ。それが溶けていった春。全部味わえたからこそ、その時期にしか味わえない彩りとかにおいとかを尊く感じる。季節ごと全部違うから、全部がいいんですよ。それに、成長と共に感じるものが違う。自然ってすごいなと思うのは、同じ場所でもその時々で新しいものでてくることです。そういう経験が宝物です。

感じるアンテナを磨く ～身近な自然～

北海道の自然は確かに鮮度がいいですね。でも、植木鉢から芽が出てきたときの色。きれいな色をして。やはり鮮度を感じるんです。求めると近くにも鮮度のいいものがいっぱいあると思います。

自然を感じるには、感じるアンテナを磨いておく必要があると思います。それとチャンネルを閉じないこと。思春期の時などは自分の頭の中だけに思考が集中するし、そういうときは難しいですけど、でも、ちょっとチャンネルを変えると見えてきます。家のなかにも、このサボテンは私に栄養をくれているなあとというように。すると、一個一個に命の鮮度がある気がします。3才の子どもとよく近所を散歩しているんですが、子どもはなんにでも興味を持って、質問攻めなんです。「何で葉っぱが黄色くなるの?」とか。すると、私が興味を持っていないことでも考えなければいけなくなる。「葉が落ちて寂しいね。でも、もう次の葉っぱの赤ちゃんの準備してるんだよ。」と言うと、楽しみになっちゃって…。「いつ出てくるの?」って。この木が全部生きていて、次にはすごい数の赤ちゃん出来て、そのためにいっぱい空気すって太陽浴びているんだよって思うと…命いっぱいって感じる。すると、すごく楽しくなる。

「ママ、うれしんで」～子どもと自然かんざつ～

子どもと観察していると、考える癖がつかます。そうすると、自分もボーと口を開けてモノを見てたりするんですよ。子どもがよく、「ママ、うれしんで」と言うんです。「うれしもう」とするメガネをかけると、楽しいですよ。「守らなきゃ」だと肩間にしが寄った感じでしょう?こんなふう(目をつり上げて)なっていると、誰にも幸せをあげられないし。自然を「うれしむ」気持ち、子どもから与えられたり、大きな自然から育ちました。

「シゼンホゴフェス」とは…

「自然保護って、なあんだこういうことからよかったんだ」と、自然保護に関心を持ってもらい、身近なものに感じてもらうために開催。コンサートやトークショー、メッセージの展示や映画上映などのさまざまなプログラムを盛り込んだイベント。

2001年12月14日から24日まで、「池袋アムラックス東京」で開催しました。



そして、母からでも。東京で暮らしていたんですが、母はタンポポを当たり前のように食卓に載せていました。東京でも季節の食材があって、季節を楽しんでいたんですね。ただの雑草だったのが、「食べられるんだ〜」とかかわかると親しみが湧きます。子どもの経験ってストレートで、とても大切なものだと思います。以前ハワイに行ったときに大きなムカデを見たことがあって、「あ〜虫好きを返上しないと…」と思ったくらい怖かった。でも、その時どうして怖いのかなと考えたら、知らないからだと思いました。お母さんが虫を怖がっていたら、子供もそうなるでしょう。私は怖くても子どもに教えられるものがあればいいなと思いました。

モノのルーツ ～子どもと一緒に考える～

いろんなモノのルーツ、根っこを知るのもいいですね。それがあって当たり前っていうのはコワイ。3才には当たり前ではないし、だからこそシンプルで重要な問いかけをしてきます。一緒にどうしてやって来たんだろうと考えると、私もいろんなことがシンプルに見えてきます。例えば、イチゴを一年中あると思っているけど、本当は?とか考える。12月にイチゴって変?って。素材のルーツを知ると、愛おしくなるし、身近にもなるし、大切にしていける。そして、モノがシンプルに見えてくれば、つじつまの合わないことをやらなくなるのではないのでしょうか?

狂牛病とかいっても、生命からかけ離れた過ちのような気がするんです。食べることはサイクルなのに、それが製品になってしまっただけのように感じます。かれら(牛)が好きなのは新鮮な牧草で、それを食べるという自然のサイクルを意識できればすいぶん違って来たのでは。自然には自然のルールがあるはずで、ちゃんとそれを心得ていけば一緒に生活できるんじゃないのかな。自分も小さいけど、生命体のひとつとして意識できていればと思っています。生きものとして循環していることを。また、文明の中でも美しく循環しているものがあります。私はそれらを知っていききたいなと思っています。



シゼンホゴフェスでは、2001年「自然しらべ」に寄せいただいた全作品をパネルにして展示しました。(高さ2.7m/幅1.9m)

Event Report

2001年自然しらべから「みんなのひとこと」

- 私の大切な自然は、ホテルの飛び交う水田です。最近では観光客の人たちが、車で大勢来るようになってしまいました。排気ガスとか、ホテルに影響したら嫌だなあ。あんまり多くの人には知ってほしくないところです。群馬県/東間未希さん
- 毎日通勤で通る田んぼには、サギ類やキジなど、日によって色々な鳥が見られる。住宅地周辺だが、まだまだたくさんの鳥が見られることに感動した。愛知県/藤村深雪さん
- 子供達が自分達の郷土の自然に気づいて、それらを大切にすることを長く持ち続けていけるようになってもらいたいと思います。千葉県/藤乗一由さん

Report

- 身近な水路がコンクリート化されていきます。こども達の魚捕りの場が失われていますが案外気にも止められません。このことのツケは、いずれどこかであらわれていきそうです。茨城県/山根幸美さん
- 公園なので、人工的な自然なのかもしれませんが、緑があって、その中で幸せそうに遊んでいる人々がいる、こういう風景がずっと続くといいなあ、と思います。東京都/佐竹繁春さん
- 我が家の八重桜からみつき、毎年色鮮やかになるカラスウリ。冬、ヒヨドリがつつきに来る。埼玉県/鳥居貴代美さん
- いつもみている場所なので四季の移り変わりなどの微妙な変化と自然との調和が心を和ませる。東京都/春田善之さん

もっと自然観察 もっと自然しらべ

はっけん
発展

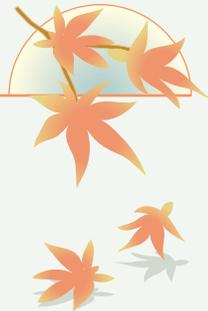
自然しらべをやってみて、いかがでしたか？
あなたのまわりの身近な自然の中に出ていくきっかけになった
でしょうか？このマニュアルは、全国どこでもできるように作られて
いますが、自然の姿は場所によってずいぶん違うと思います。
このマニュアルをもとにして、あなたの土地の自然がもっとよく
わかるような自然しらべを考えてみてはいかがでしょう？それ
は、調査項目を探すというおおげさなものではなく、自然観察の
テーマ探しなのです。



自然かんさつのポイント

遠くからみる

自然しらべでも必ず最初に土地の自然全体を見わたすような項目が入っています。
ひとつの花をしゃがみ込んでみるというのも大切ですが、そればかりだとその
自然全体の姿がみえてきません。高いところからみたり、時には動物の目の高さ
からみてはいかがでしょう。



じっくりみる

毎日の通勤・通学でも、まわりの景色は目に入っ
ているはず。では、そこにどんな自然がある？
どんな変化があった？と聞かれたらどうでしょう。
みているつもりでもみていないのではないで
しょうか？じっくりとみてみませんか？じっくり
みるために、スケッチをしてみるのも良いで
しょう。

つながりでみる

ひとつの生き物をじっくり見ることは大切なこと
です。そうしているとその生き物と他の生き物
とのつながりもみえてきます。自然しらべでは
それに加えて、生き物とまわりの環境あるいは
土地の自然とのつながりや、人と土地の自然と
のつながり・かわりに目をむけています。ぜひ、
自然を「つながり」としてみてください。

Event Report

2001年自然しらべから「みんなのひとこと」

- 毎年春3月～4月沢山のニホンアカガエルが近くの雑木林や茶畑から産卵のため、雨の夕方、大森調節池に集まってくる。途中道路を横断しなければならず、れき死が多量発生してしまう。みんなで救出作戦を実行している。埼玉県/小見寺公一さん
- 2月の下旬頃から、花のつぼみをふくらませ始める沈丁花の花を毎日、小学校に通いながら見守っていました。そして、この花の香りが漂い始めたら、卒業式一別れの季節だなあ、としみじみ感じたものでした。神奈川県/萩原有美さん

自然かんさつのポイント

五感で感じる

「みる」といっても目で見るだけではありません。味をみるといいますが、耳で、
鼻で、肌で、そして舌で自然をみてください。毒のあるものには、注意が必要です。



一緒にみて話し合ってみる

ひとりで自然観察をすることも楽しいですが、家族や友達、仲間と一緒に自然観察をすると、
もっと楽しいものになります。自分の気づかなかったことや感じなかったことなど、新しい発見が
あるはず。それが自然観察「会」です。

時間の流れでみる

同じ場所も季節が変わるとようすが違います。同じ木でも花がさく時期、葉が茂る時期、葉が
落ちる時期があります。それとともにその木にかかわる生き物も違ってきますし、人のかか
わり方も違ってきます。川のように雨などがたくさん降ったり、雪がとける時期によって
ようすが違います。また年々によっても違いま
す。どんな変化があるでしょう。

違う場所を見比べてみる

同じ身近な自然でも、場所が変わるとようすが
違います。となりの町のようにはどうだろう。
この川の上流はどうなっているだろう。また、
夏休みにいった山奥の自然とはどこがどの
ように違うだろう。比べてみると、もっと
あなたの身近な自然のことがみえてきます。

地図にしてみる

しらべた、観察した自然のようすや、人と自然のかかわりは、ノートなどに記録して
おくと良いでしょう。その時に地図にしてみませんか。土地の自然のようすが
とても良くわかってきます。



右は、1999年の「里やまの自然しらべ」
の時に、香川県の請川紋香さんに送っ
ていただいた地図です。



Report

- 身近な自然の中にも、「あっ！」と驚く生き物たち（植物も含めて）がたくさん潜んでいて、まるで宝探しをしているようです。この身近なワクワク宝探し中毒、一生直りそうもありません。埼玉県/大野佐和子さん
- 自然の風景はあまりに身近なので、その大切さや美しさ、そして人の心に与えてくれるありがたさを見過ぎてしまっている人が多いと思います。写真やエッセイを見て初めて、これは残しておきたいと共感してくれると思います。神奈川県/石井哲男さん



自然を傷つけない

自然には強い自然と弱い自然があります。例えば、タンポポのお花畑に30人が座って草が倒されても、これらはすぐに復活しますが、尾瀬の湿原に踏み跡をつけたら、そのダメージは計り知れません。「自然しらべ」に出かけるときは、その対象が強い自然か弱い自然かを見極めると共に、自然へのダメージが最小限で済むような手法を考えましょう。また、採集行為も場所や採集の対象の選定に十分配慮しないと自然を傷つけることになってしまいます。採集してしまっただけではその生物が本来生きている姿を観察することができなくなりますし、後からやってくる人の観察の機会も奪うことにもなります。自然とふれあうことを目的とするならば、採る量や生き物の種類、場所をわきまえた上で遊ぶか、採らずにその場でゆっくりと観察しましょう。

ゴミは持ち帰る

ゴミは家まで持ち帰って処理しましょう。ゴミは景観を壊すだけでなく、食べ残しなどのゴミに野生動物が餌付いてしまったり、誤ってビニールを飲み込む動物がいたり、小さな昆虫は空き缶の中から出られなくなってしまうこともあります。生態系のバランスに悪影響を与えるのです。ゴミは責任を持って持ち帰り、またゴミ拾いをする。それは身近なところから始められる自然保護です。

安全対策 ～指導者の方へ～



自然の中で活動すれば、それなりに危険が伴います。また、現在の法律では、ボランティア活動であっても指導者が「危険を予測し回避する」責任を果たさなければ、過失責任を問われることとなります。しかし、「危ないから自然の中に出でいかない」のでは、いつまでたっても本当の意味で自然に親しむことは出来ません。自然の中に潜む危険を熟知し、対処の仕方を身につけることは、自然と共に生きていくために必要不可欠なことです。

まず、予防のためには、指導者が危険因子をよくわかっていなければなりません。自然の持つ危険因子のうち、危険な生物については、フィールドガイドシリーズ「野外における危険な生物(平凡社)」が出版されていますので、参考にすると良いでしょう。また、気候や地形地質などに起因する危険は、重大な事故につながることもあるので、事前に情報収集したり地元の人の意見を聞いたりして、十分に予備知識を持っておく必要があります。さらに、下見をして、コース中に危険箇所がないかどうか、念入りに調べておきましょう。日赤などの機関で、救急法の講習会を開いているので、受講しておくことをお勧めします。そして実際に「自然しらべ」を行う際には、自然の持つ危険因子とそれへの回避や対処法を極力メンバーに伝え、いざというときには、絶対に注意を聞いてもらうという信頼関係を持てるようにしましょう。

救急用品

消毒薬、虫さされの薬、滅菌ガーゼ、カットバンなどひとまとめに持って歩きましょう。

医療機関

当日の医療機関はあらかじめ調べておきましょう。特に休日は特別の医療機関しか開いていないことが多いので注意してください。

保険

野外活動中の事故による医療費等を担保してくれる「行事災害保険」が各保険会社で取り扱われていると思います。「自然しらべ」に出かける際は、必ず保険をかけるように心がけましょう。自然観察は危険行為をとまわらないので保険料は比較的安くて済みます。

NACS-J 自然観察指導員とは

地域に根ざした自然観察会を開き、自然を自ら守り、自然を守る仲間をつくるボランティアリーダーです。日本自然保護協会が1978年に自然観察指導員の養成講座をはじめて開いてから2002年で24年、受講者は1万8千人を超えました。

豊かな自然を豊かなまま次の世代に渡すという自然保護。そのはじまりが自然観察です。

じーっと見る→見えてくる→わかる→うれしい。*

このうれしさが自然を愛する人を増やし、自然保護運動につながり、やがて社会システムを変える大きな原動力となるのです。ひとりでも多くの人に自然を愛し、守ってもらうために。自然観察指導員はライフワークとしてボランティアで地域の自然観察会を開催しています。これが私たちの考える「自然保護教育の実践」です。

※「テオリア」青柳昌宏 / 筑摩書店より抜粋

NACS-J自然観察指導員講習会へご参加下さい

鳥や花の名前を覚えることが目的ではありません。自然のしくみ、自然のつながり、人が自然と今後どのように関わっていったらいいのかなど、自然を守るために必要な視点を身につけるのが目的です。

お勤めの方でも参加しやすいように金・土・日の2泊3日が原則です。3日間とも昼間は野外実習。夕食後に3時間の講義。毎年全国各地で10数回開催しています。3日間の講習会を修了し登録申請すると、日本自然保護協会の自然観察指導員として登録され、登録証、腕章、ネームプレートが渡されます。登録にあたって、会報を通じて情報提供や全国の自然保護の状況を把握していただくためにも、日本自然保護協会会員になっていただきます。

参加資格

満18歳以上で、2泊3日の講習会を受講できる方。
自然観察指導員として、地域の自然観察会活動をすすめる意欲をもった方。

費用

参加費は約2~4万円です。
(受講料、保険料、初年度登録費、宿泊費、食費を含む)
宿泊費などが開催地によって異なります。開催地までの交通費は自己負担となります。NACS-Jの会員でない方は、これに加えてNACS-J個人会員としての年会費5千円が必要となります。

講習会スケジュール

- 1 12:30 受付・開講
13:30 野外実習「自然のしくみを見に行こう~森を通して」
19:00 室内講義「自然保護を考える」
22:00 終了
- 2 9:00 野外実習「地域の自然を理解しよう」
13:00 「自然観察のテーマを考えよう」
18:30 室内講義「自然の観察」
22:00 終了
- 3 7:00 野外実習「自然観察会のテーマ探しとプログラム作り」
9:00 野外実習「実際に自然観察指導をしてみよう」
11:30 まとめ、閉講

お問い合わせ先：日本自然保護協会 普及広報部
TEL 03-3265-0525
Eメール fukyu@nacsj.or.jp



観察から 保護へ

自然かんさつから はじまる自然保護

ホゴ
保護

最近数十年のうちに、自然はずいぶんと痛んでしまいました。

今まだ良い状態で残されている自然はそのまま、痛んでしまった自然は良い状態にして、次の時代のこどもたちに伝えていきたいものです。

そのためには、今その土地で暮らしている皆さんが、土地の自然を大切にすることが必要です。そのために自然かんさつを試みましょう。土地の自然をふだんから見続けていくことによって、愛着が湧いてくると思います。自然にどんな変化があるのかにも注意するようになるでしょう。そして、その自然を大切にするにはどのようにしたらよいか、人のくらしも土地の自然も豊かな状態で保っていくにはどうしたらよいか、みえてくるのだと思います。このように自然と接する人々が増えていけば、自然は良い状態で受け継がれていくはず。自然しらべや観察会でそんな仲間を増やしていきませんか。

これが、「自然かんさつからはじまる自然保護」です。

環境問題の解決方法について、「地球の大きさで考え、地域で行動しよう」とよくいいます。皆さんのまわりの身近な自然について、見続け、愛着を持ち、行動していくことは、地球全体の環境問題の解決のための基本になります。

あなたが住む土地の自然、あなたのふるさとの自然を見続け、残していけるのは、あなたなのです。

まわりの身近な自然について
見続け・愛着を持ち・行動しよう

みじかな一句

雨のあと 見上げる山に きりがかかる

奈良県 / 山本和美さん

— ぜひサポーターになってください —

〈わたしたちのこと〉

about us

ところで、日本自然保護協会とは？

自然を守りたい。あなたの思いを政策に反映させるのが日本自然保護協会の役目です。

現場の知識と
実行力で
日本の自然を守る

- 科学的な調査に基づいて生態系と生物の多様性を守ります。
- 自然の仕組みを生かした社会づくりを提案しています。
- 自然かんさつ会を通じた自然保護の仲間づくりをすすめています。
- 年5000円の会費や、寄付という貴重な志で運営されています。
- ボランティアの方たちに支えられ、力強いNGO活動を展開しています。

日本自然保護協会は日本の自然保護問題を具体的に解決するために半世紀近く活動してきたNGOです。財団法人ですが、行政とは異なる立場をもつ自発的な民間団体です。いつでも誰に対しても自由に発言できるように、主な財源を一般からの会費と寄付にすることで自主性・独立性を保ってきました。政府からの天下りは受け入れません。自発的な活動で自然保護政策にパートナーシップを組むアドボカシー（政策提言型）NGOです。諫早湾干拓問題、熊本県川辺川ダム計画、白神山地のブナ林の保全、愛知県瀬戸市海上の森・万博計画、東京湾三番瀬埋め立て計画など、各地の問題解決に取り組んでいます。絶滅の危機に瀕する野生生物の種の保存法、世界遺産条約などの法律や条約の充実のためにいつも働きかけています。また、自然かんさつ会を通して自然保護の仲間作りを進めています。問題解決と仕組み作り、仲間作り。どれも大切な仕事です。

〈50周年〉

half the century

自然を守って50周年

1949年、発電所建設でダムの中に沈もうとしていた尾瀬を守るため、生物学者や登山家などを中心に「尾瀬保存期同盟」が結成されました。その後、尾瀬だけでなく広く日本の自然を守るため1951年「日本自然保護協会」と名前を改め、1960年に日本の自然保護団体として初の財団法人になりました。そのあとも白神山地のブナ林や石垣島の白保サンゴ礁など各地の開発計画を止めることに成果をあげ、また林野庁の森林生態系保護地域など新たな自然保護制度が制定・導入されるよう努力し、実現しました。日本の自然保護のために約半世紀がんばってきました。

〈いつでもあなたでも〉

Join us

年会費は5000円 月コーヒー1杯分

日本の自然は毎日がせとぎわです。日本の自然保護は毎日がぎりぎりです。今日あなたが「5000円サポーター」になってくれたら、明日の日本の自然が、ひとつ守れます。年会費は5000円、月コーヒー1杯分。お願いします、今日あなたが「5000円サポーター」になってください。

お問い合わせ先

〒102-0075 東京都千代田区三番町5-24山路三番町ビル3F
(財)日本自然保護協会(NACS-J/ナックス・ジェイ)
Tel:03-3265-0521/Fax:03-3265-0527 nature@nacsj.or.jp http://www.nacsj.or.jp

身近な自然観察ガイド

編集・発行 財団法人 日本自然保護協会 中井達郎 阿部晴恵 森本言也

印刷・製本 コロニー印刷

デザイン・制作 株式会社 バツフォ環境計画研究所 佐伯剛正 志村和浩 山本直 徳本洋子

表紙イラスト 志村和浩 キャラクターデザイン 吉柳はるか

イラスト トミタ・イチロー 阿部晴恵 山本直

このガイド作りと50周年キャンペーンに関わってくださったボランティアの方々

浅海邦夫 安部嘉江 安野正士 池田康弘 井上元 岩堀美和子 上林将郎 岡野泰男 荻田雄輔 小口治男 海津研 北村大 木村恭子 相楽悦男 杉山和彦 春原麻子 竹内直 出口三絵子 長津行雄 中原秀起 成島美憲 蓮沼里美 坂東英代 平川貴之 福田夏子 前田葉子 松村佳子 三浦睦子 光井浮之 三好紀子 山田寛治 横山ゆず子 渡辺浩行 阿川洋子 羽生奈緒美 浦野稔 横江陽子 加納美穂 宮野加代 橋本広明 原田哲志 根岸真理 山口由佳 酒井宏光 小野寺留美子 小野内常子 小林香 林玲子 北嶋真 松井由香子 松本秀幸 植田剛裕 森下靖夫 生田茂雄 浅野ゆう子 増永望未 大井由美子 滝川潔 南雲みどり 波川智亮 飯島勇人 福田朋子 芳野英治 野村洋一 向山奈央子 小寺慶一 小川有紀子 久徳美穂 坂東誠 佐竹繁春 傳井真弓 片山美聡 佐藤さくら